

令和元年度

第1回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

1 アンケートの概要

調査対象者	令和元年度 市政モニター 188人
調査期間	令和元年7月1日(月)～令和元年7月15日(月)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	① 新居浜市史の編さんについて ② Hello!NEW 新居浜の取り組みについて ③ 地産地消の推進について

回答率

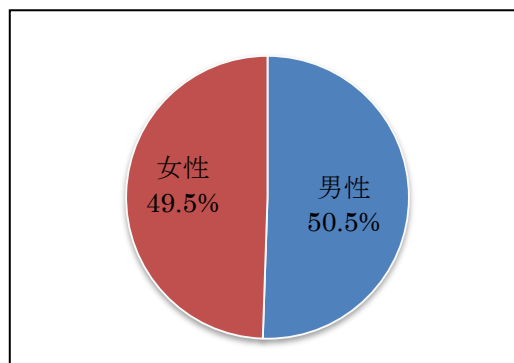
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
①	188	171	91.0%
②	188	168	89.4%
③	188	165	87.8%

2 市政モニター内訳(※令和元年7月1日時点)

<性別>

(単位:人)

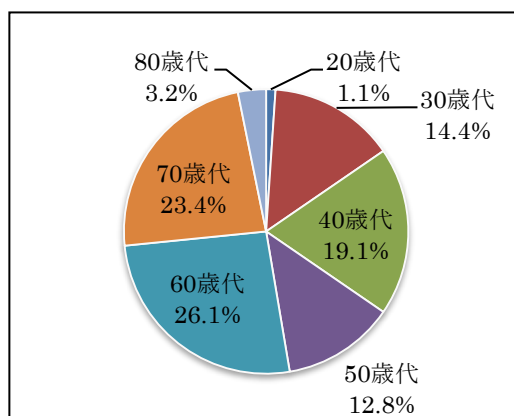
男性	95 (50.5%)
女性	93 (49.5%)
合計	188 (100.0%)



<年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	0	2 (1.1%)
30歳代	6	21	27 (14.4%)
40歳代	15	21	36 (19.1%)
50歳代	11	13	24 (12.8%)
60歳代	27	22	49 (26.1%)
70歳代	29	15	44 (23.4%)
80歳以上	5	1	6 (3.2%)



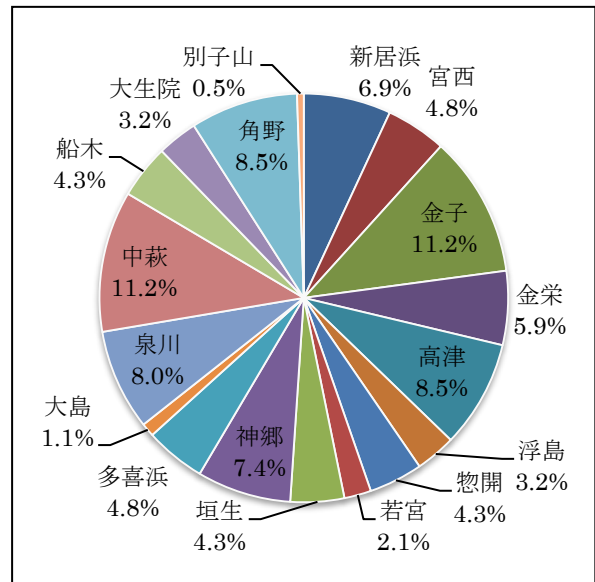
※年齢は平成31年4月1日時点

<居住地(小学校校区)別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
新居浜	2	11	13 (6.9%)
宮西	3	6	9 (4.8%)
金子	14	7	21 (11.2%)
金栄	5	6	11 (5.9%)

高津	8	8	16 (8.5%)
浮島	4	2	6 (3.2%)
惣開	3	5	8 (4.3%)
若宮	2	2	4 (2.1%)
垣生	3	5	8 (4.3%)
神郷	9	5	14 (7.4%)
多喜浜	3	6	9 (4.8%)
大島	2	0	2 (1.1%)
泉川	11	4	15 (8.0%)
中萩	11	10	21 (11.2%)
船木	5	3	8 (4.3%)
大生院	2	4	6 (3.2%)
角野	7	9	16 (8.5%)
別子山	1	0	1 (0.5%)



〈回答方法 種別〉

(単位：人)

郵送モニター	112 (59.6%)
Eメールモニター	76 (40.4%)
合計	188 (100.0%)

〈選任方法 種別〉

(単位：人)

公民館推薦	94 (50.0%)
公募	94 (50.0%)
合計	188 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

3 調査結果

テーマ① 新居浜市史の編さんについて

【調査趣旨】

新居浜市では、昭和37年と昭和55年の過去2回『新居浜市史』を刊行しています。

それから約40年が経過し、時代も平成から令和へと変わりました。これを機に、平成の30年間を含めた新しい『新居浜市史』を編さんすることとなりました。

今年度中に開催される市史編さん審議会において、市史編さんの基本的な考え方や刊行計画を含めた今後の事業計画が審議され、これに基づいて具体的な作業が始まります。

市史編さんは、現在そして未来の新居浜市民のために行うものですから、市民の皆さんがどのような市史を求めているかを常に意識しながら作業を進めていきたいと考えています。このため、まず市政モニターの皆さんを対象にアンケート調査を行うことといたしました。

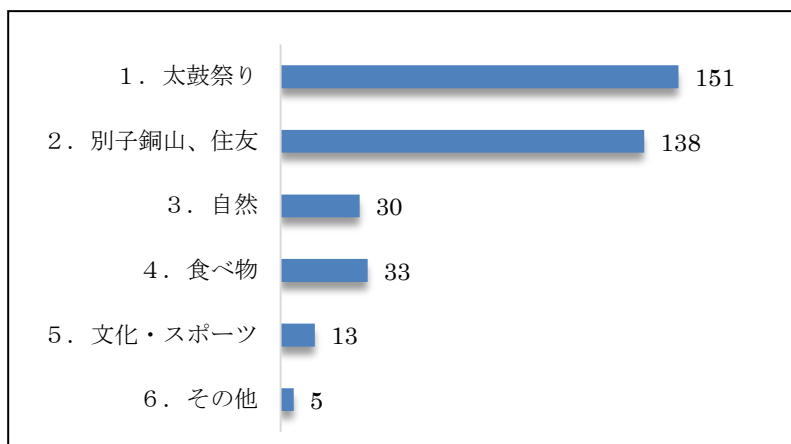
事業に対するご意見と合わせて、皆さん自身がお持ちの情報や興味・関心を教えていただきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(担当課：市史編さん室)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. あなたが市外の方に新居浜市のことを説明するとき、話題にするのは次のどれですか。
(複数選択)

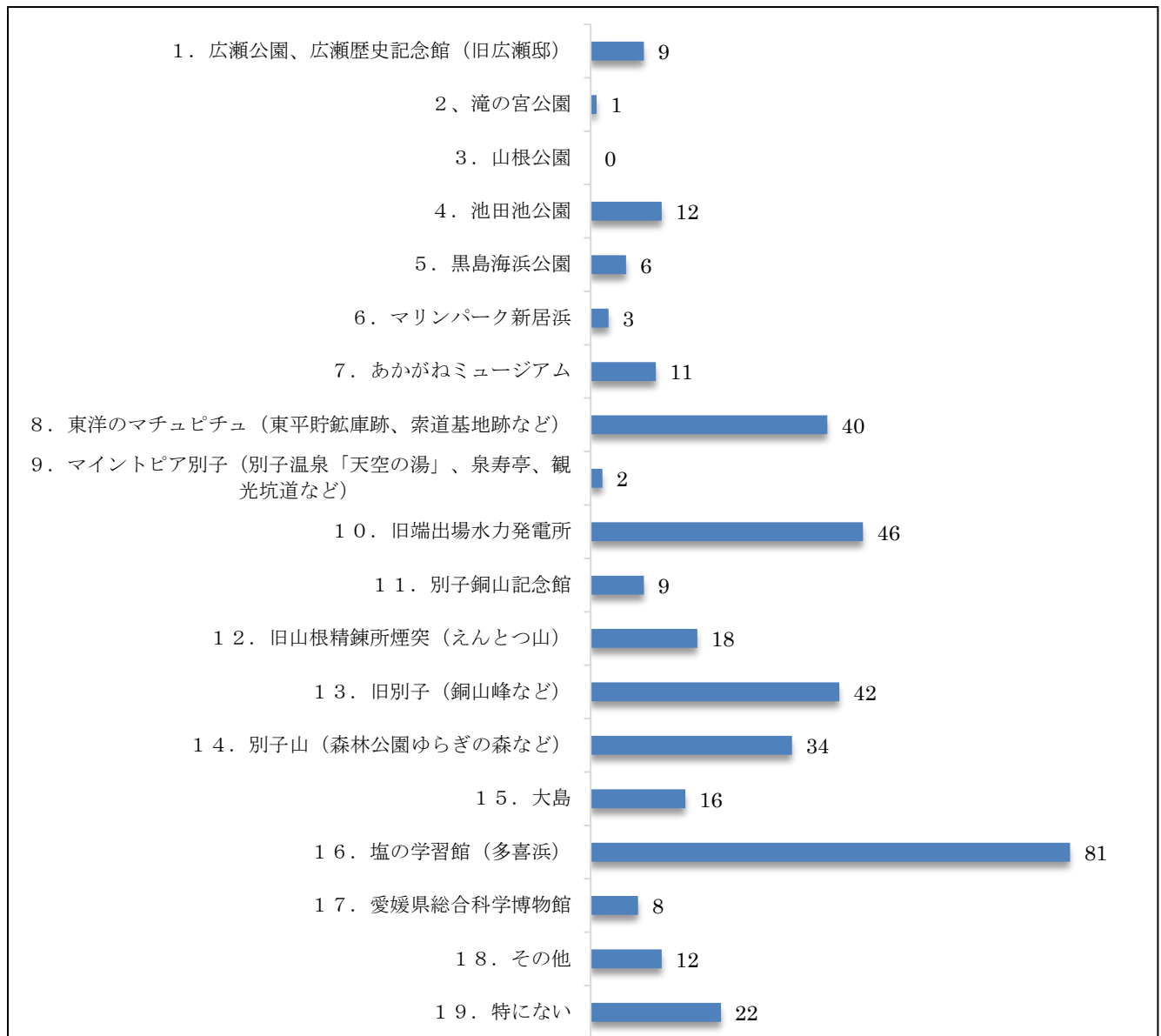
1. 太鼓祭り	151人
2. 別子銅山、住友	138人
3. 自然	30人
4. 食べ物	33人
5. 文化・スポーツ	13人
6. その他	5人



「1. 太鼓祭り」(151人)、「2. 別子銅山、住友」(138人)と答えた方が多くなっています。

問3. 新居浜市内に、一度は行ってみたいけれど、まだ一度も行ったことのない場所がありますか。
また、その場所を教えてください。(3つまで選択)

1. 広瀬公園、広瀬歴史記念館(旧広瀬邸)	9人
2. 滝の宮公園	1人
3. 山根公園	0人
4. 池田池公園	12人
5. 黒島海浜公園	6人
6. マリンパーク新居浜	3人
7. あかがねミュージアム	11人
8. 東洋のマチュピチュ(東平貯鉱庫跡、索道基地跡など)	40人
9. マイントピア別子(別子温泉「天空の湯」、泉寿亭、観光坑道など)	2人
10. 旧端出場水力発電所	46人
11. 別子銅山記念館	9人
12. 旧山根精錬所煙突(えんとつ山)	18人
13. 旧別子(銅山峰など)	42人
14. 別子山(森林公園ゆらぎの森など)	34人
15. 大島	16人
16. 塩の学習館(多喜浜)	81人
17. 愛媛県総合科学博物館	8人
18. その他	12人
19. 特にない	22人



「16. 塩の学習館（多喜浜）」（81人）、「10. 旧端出場水力発電所」（46人）、「13. 旧別子（銅山峰など）」（42人）、「8. 東洋のマチュピチュ（東平貯鉱庫、索道基地跡など）」（40人）などが、新居浜市内の、一度は行ってみたいけれど、まだ一度も行ったことのない場所として多く挙げられています。

**問4. 問3で「18. その他」と答えた方にお伺いします。その場所を教えてください。
（自由記入）**

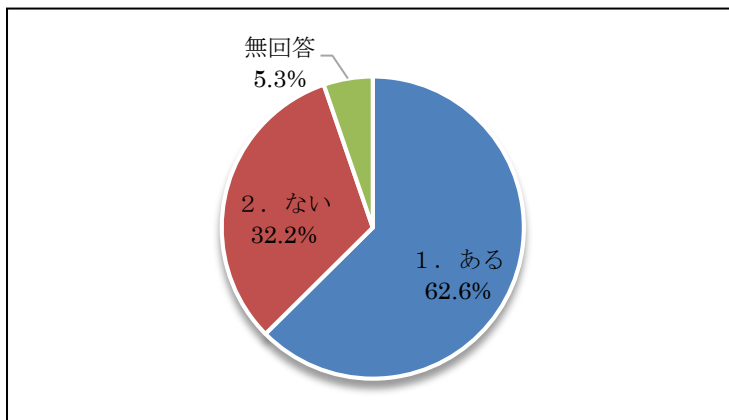
たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

※（ ）内は同種意見の方の数を示しています。

- ・日暮別邸記念館（6）
- ・四阪島（4）、新居浜市ではありませんが、銅山の歴史に重要な場所なので、一度行ってみたいです。
- ・魔戸の滝、銚子の滝（3）
- ・御代島（2）
- ・寺院、戦国時代の戦場跡

問5. あなたは新居浜の歴史に興味・関心がありますか。(1つ選択)

1. ある	107人
2. ない	55人
無回答	9人
合計	171人



「1. ある」(62.6%)と答えた方が多く、全体の6割を超えています。

問6. 問5で「1. ある」と答えた方にお伺いします。新居浜の歴史の中で、特に興味・関心のあ
る時代、テーマ、人物などがあれば教えてください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

※()内は同種意見の方の数を示しています。

【時代】

- ・住友の町になる前。1691年(元禄四年)別子銅山開坑前の頃(4)
- ・別子銅山が最盛期の頃
- ・有史以来全てに関心があるが、特に戦国時代(4)に関心深い。
- ・近代の歴史は学校で勉強しましたが、戦国時代とか昔の話も面白いと思います。
- ・古代から中世
- ・縄文・古墳時代(2) ・奈良・平安時代 ・江戸時代 ・明治時代(3)
- ・明治32年の別子大水害前後の出来事。特に、事後の10年くらいの間。
- ・塩田で塩づくりをしていた時代
- ・昭和30年頃に昭和通りが開通した頃の歴史を調べてみたい。

【テーマ】

- ・別子銅山の歴史(25)
- ・住友家の歴史、住友企業の成り立ち、新居浜市と住友の歴史等(14)
- ・多喜浜塩田の変遷、塩田の歴史(7)
- ・太鼓祭り、太鼓台の歴史(5)
- ・四阪島(4)、日暮別邸が移設されて興味が湧いてきました。
- ・別子銅山や広瀬幸平らの功績。人びとの生活や街の風景の変遷。
- ・新居浜市が企業都市として、どのような歴史があったのかということ、その時代にどのような人物がどのような活動をされて現在の新居浜市をつくり、今の人々にどのような影響を与えてきたかについて知りたい。
- ・製錬に関する公害防止の歴史、伊庭貞剛氏や他の人々の功績など。
- ・東平での暮らし
- ・別子銅山で働いていた人たちの生活について。銅山での仕事は絶対に変なはず、頑張って働けるような待遇を受けていたのか気になります。

- ・各地区の成り立ち、どのように栄え、今に至るのか、について知りたい。
- ・新居浜の歴史ではなく、地元の成り立ちや昔話を知りたい。
- ・新居浜地方を古代より支配してきた氏族の移り変わりに関心があります。
- ・金子城、豊臣秀吉が攻めてきたときの状況などについて (3)
- ・村上海賊の歴史と新居大島
- ・住友ばかりに集中しますが、大島、多喜浜塩田、又野の村上氏とかあまり知られていません。この辺の所をもっとアピールして下さい。
- ・新居浜にはなぜ弘法大師が来なかったのか？札所がないのは残念です。
- ・商店街の歴史
- ・旧新居郡から新居浜市への合併の歴史
- ・新居浜市の水利開発の歴史
- ・新居浜駅の横にある古墳
- ・今住んでいる場所のこと。孫たちに教えたい。

【人物】

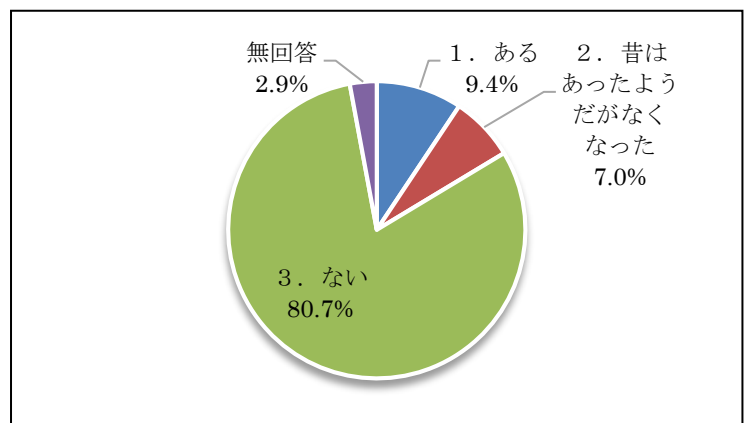
- ・広瀬幸平 (11)、伊庭貞剛 (7)
- ・鷲尾勘解治 (5)
- ・別子銅山を支えた人々として、広瀬幸平、伊庭貞剛、鈴木馬左也、鷲尾勘解治があげられるが、市政だより等でシリーズ物として市民に紹介してほしい。
- ・白石誉二郎、小野寅吉
- ・新幹線の生みの親、十河信二 (5)
- ・多喜浜塩田に貢献した天野氏などの人物
- ・真鍋博
- ・金子備後守元宅
- ・切り上り長兵衛

【その他】

- ・新居浜周辺の古い写真をもっと見たい。収集してほしい。
- ・銅山連峰の自然

問7. あなたの家に「古文書」、「家系図」などの古い史料がありますか。(1つ選択)

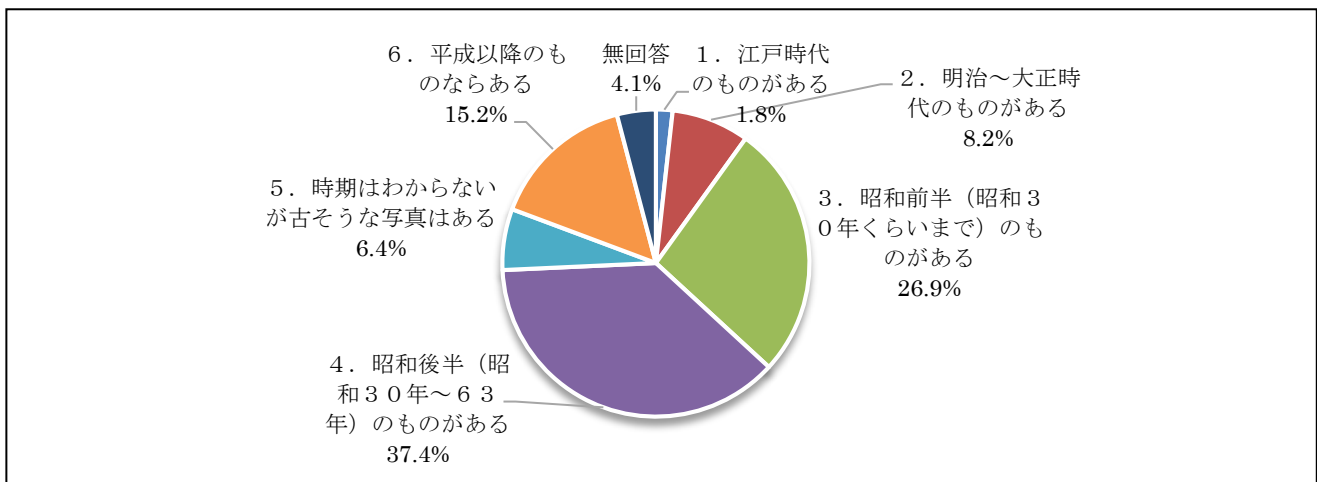
1. ある	16 人
2. 昔はあったようだがなくなった	12 人
3. ない	138 人
無回答	5 人
合計	171 人



「1. ある」(9.4%)と答えた方が全体の約1割となっています。全体の約1割の方が、古文書や家系図などの貴重な古い史料を保管されていることがわかりました。

問8. あなたの家にある写真（人物写真を含みます）で、一番古いものは次のうちどれですか。
（1つ選択）

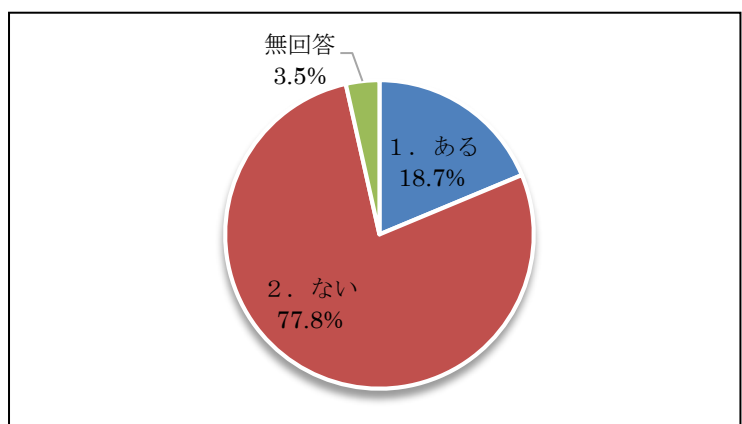
1. 江戸時代のものがある	3人
2. 明治～大正時代のものがある	14人
3. 昭和前半（昭和30年くらいまで）のものがある	46人
4. 昭和後半（昭和30年～63年）のものがある	64人
5. 時期はわからないが古そうな写真はある	11人
6. 平成以降のものならある	26人
無回答	7人
合計	171人



「1. 江戸時代のものがある」（1.8%）、「2. 明治～大正時代のものがある」（8.2%）を合わせると、全体の1割の方が、近代以前の貴重な古い写真を保管されていることがわかりました。

問9. あなたが知っている地元伝承や古い言い伝えはありますか。（1つ選択）

1. ある	32人
2. ない	133人
無回答	6人
合計	171人



「1. ある」（18.7%）と答えた方が全体の約2割となっています。全体の約2割の方が、地元伝承や古い言い伝えをご存じであることがわかりました。

問10. 問9で「1. ある」と答えた方にお伺いします。わかる範囲で結構ですので、その内容を教えてください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・一宮神社の小女郎狸は、夜な夜な、飲んで酔っ払った人を誘って変なものを食べさせたり、どぶ川にお風呂だと思わせて入らせたり、いろんな悪戯をしたと叔父さんが話してくれて、楽しかったのを覚えています。
- ・高津校区の三義民
- ・つづら淵の龍
- ・池田池の竜神さん
- ・とうどさん
- ・船木のかぶと踊り
- ・大島の「幽霊の片袖」。小さい子どもを残して母親が亡くなり、毎日お墓の前で泣いて過ごす。子どものために自分の着物の片袖を渡した、という内容だったと思います。
- ・沢津の漁港に海坊主が現れて、柄杓（ひしゃく）をくれと言う。渡すと、その柄杓で船に海水を入れ、沈める。ただ、底に穴が開いた柄杓を渡すと、穴が開いていることに気づかずすくい続け、朝になると海に帰る。
- ・郷の若宮神社は、豊臣秀吉の時代の頃、攻めてきた侍と戦い、亡くなった人を祀っている場所だと聞いています。民家の中にひっそりと祠（ほこら）があります。
- ・八幡神社と源家の話
- ・大般若入れ
- ・般若入れの謂れは「家内安全・無病息災・厄難退散」、地藏まつりの謂れは「地藏菩薩が地域子どもを守ってください」。
- ・近くの淵（西河川）で馬を洗っていた場所があったので「馬淵」という地名になったと聞いたが、本当だろうか？
- ・光明寺、この寺は現在は西条市に移転していますが、元々は新居浜の泉川地区の山中にありました。跡も明確です。町民の長老等から取材して、ふるさと光明寺冊子を発行した一部に言い伝えがあります。
- ・中萩、大生院の山間部にあたる所に「ナル」「ナロ」「ナラス」という平坦地にした所がある。「成る」「平」と書くが、大生院には「中ノ成」「柿ノ成」など、この地名が大変多い。渦井川をはさんで奥深く昔の人々の生活の跡が見られる。
- ・結婚して、最初の春に実家へ帰る時、鱈（サワラ）を持たせてくれる。
- ・地元の盆踊り大会は何百年も続いている行事です。その中で踊られる「しっし踊り」の太鼓のリズムと踊りは今日まで続いています。昔は歌詞もついていたようです。歌われないようになって、既に60年くらいは過ぎているのではないかと思います。「しっし踊り」保存会を立ち上げたいと思っています。

問11. あなたが知っている地域の伝統行事や文化芸能、場所などで、今後も大切に残して行くべきと思うものがあれば教えてください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

※（ ）内は同種意見の方の数を示しています。

【伝統行事】

- ・太鼓祭り（30）は、大切に残していくべきだと思う。
- ・県外から来た者なので、新居浜と言えば太鼓祭りくらいしか思いつきません。
- ・太鼓祭りに関しては、「喧嘩を見たい」という市民の意識を変えないと駄目だと思います。
- ・般若入れ（8） 地域で毎年実施しているが、高齢化により各戸を回って実施するのが大変になっている。地域の伝統行事として残していきたい。
- ・大島や各地にあるとうど祭り（とうどおくり、どんと焼き、左義長）（9）
- ・各地区に残る夏越行事、わごせ（5）
- ・納涼花火大会（2）
- ・若水つづら淵のお水取り（2）
- ・地区での運動会（2） 人数減もあるので参加しやすくし、無理がない範囲で。地区でなくても、出たい人が出られるようにする。
- ・祇園祭（2）
- ・商店街等での夜市（2）
- ・地藏まつり
- ・1月の別子銅山の大鉾祭、また5月の銅山祭りでは、山神を讃えて相撲大会が別子銅山記念館（大山積神社）で行われていた。
- ・笑顔甲子園
- ・マリンパークでの凧あげ大会
- ・年末の新居浜公民館でのしめ縄づくり

【文化芸能】

- ・かぶと踊り（3） 室町時代から江戸中期にかけて、雨乞いの踊りだそうです。今は盆踊り、お祭り、船木校区芸能祭、また酒の席でも踊るそうです。独特な腰回しで豪快に酒を酌み交わしながら、輪になって、衣装も昔ながらの古いよれよれの衣装です。自然と笑みが出ます。ぜひ後々に残したいと思います。
- ・別子銅山石刀（せつとう）節（3）
- ・とんかかさん踊り（3）
- ・獅子舞（3）
- ・お手玉（3）
- ・金子地区での伝統芸能の小女郎狸踊り
- ・しょうがいな踊り、民謡、木遣唱
- ・子ども太鼓台
- ・一宮神社の神輿
- ・東台神社、浦渡神社等の相撲の歴史があります。
- ・各校区の踊りなど、大切に保存活動を行うべき。

【場所】

- ・別子銅山の産業遺産（8） 別子銅山に関わる遺跡は貴重なものだと思います。
- ・東平、東洋のマチュピチュ（5） 東平で生活していた人が存命中の今、色々な話を聞いて残しておくべき。
- ・多喜浜塩田（4） 地元が多喜浜なので、塩田の文化遺産は残していただきたい。
- ・つづら淵（3） 西条の打ち抜き水みたいに造園して整備してほしい。
- ・マイントピア別子（2） 県外の友人が来た時、気軽に案内でき、新居浜の歴史を知ってもらえる施設だから。

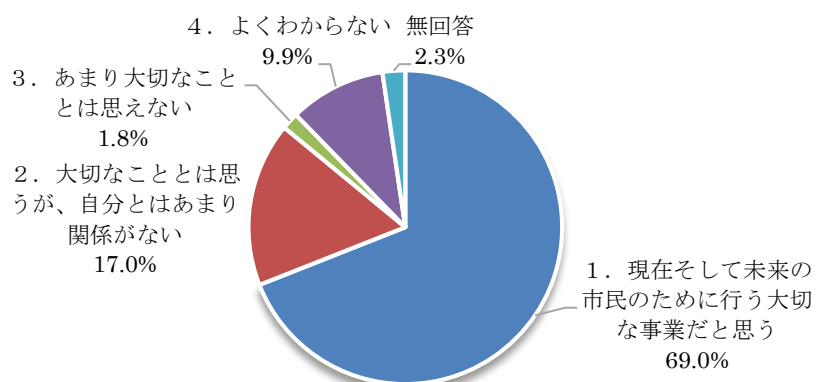
- ・旧広瀬邸、えんとつ山
- ・別子銅山記念館、日暮別邸記念館
- ・ダイヤモンド水
- ・口屋跡のあかがねの松
- ・大生院の銚子の滝や渦井川溪谷はとても綺麗で、希少な生物もたくさんいます。
- ・広瀬公園や池田池公園は、行く度に癒されます。ずっと大切に残してほしいです。
- ・高柳公園
- ・滝の宮公園入口にある天正の陣跡
- ・子どもが自由研究で調べたが、結構な数の古墳が新居浜にもある。行ってみると、荒れ放題で整備されておらず、とても残念です。
- ・市内各所の神社仏閣
- ・東町自治会館の北にある巖島神社
- ・八幡神社
- ・馬渕自治会では、馬渕天満宮を管理しています。毎年、4月には、天満宮春祭り（子供奉納相撲）、正月の3日には、新年祈願祭（入学、入試）があります。自治会として所有しているのは、他にはないと思いますので、大切に守っていききたい。

【その他】

- ・新居浜市は産業、自然、祭り（歴史）の3本柱がある。この3本柱を大切に残すべきだと思う。
- ・現在、努力しているもので良いと思う。
- ・直接的な回答かはわからないが、「新居浜の文化財」に掲載されている文化財で、その後手入れもなく放置されているものが見受けられる（小河谷断層など）。管理をしっかりとしてほしい。

問12. あなたは、「市史編さん」にどのようなイメージを持ちますか。（1つ選択）

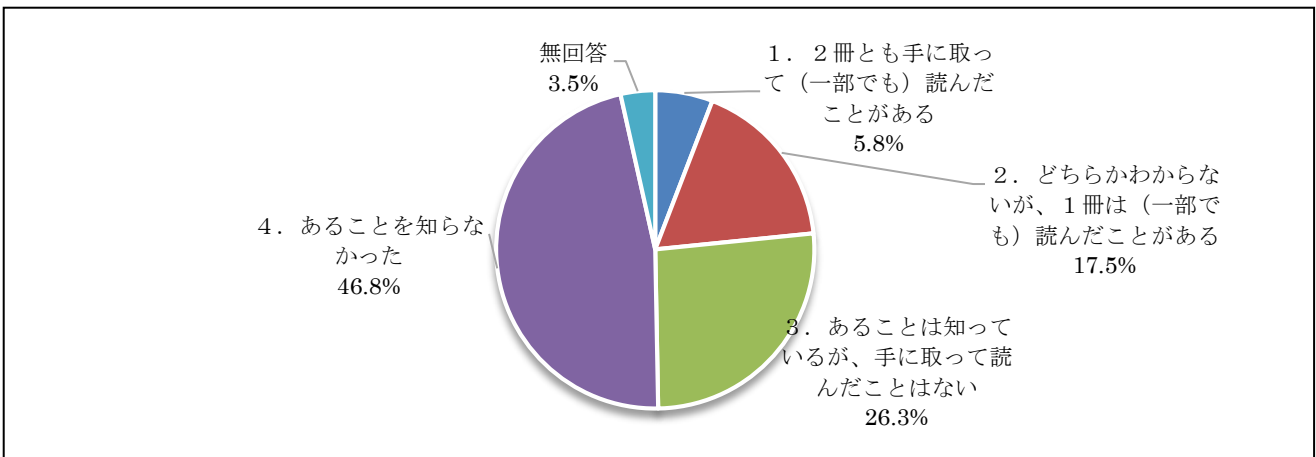
1. 現在そして未来の市民のために行う大切な事業だと思う	118人
2. 大切なこととは思いますが、自分とはあまり関係がない	29人
3. あまり大切なこととは思えない	3人
4. よくわからない	17人
無回答	4人
合計	171人



「1. 現在そして未来の市民のために行う大切な事業だと思う」(69.0%)と答えた方が最も多く、全体の約7割となっています。

問13. 『新居浜市史』の既刊本(昭和37年刊と55年刊)を見た(読んだ)ことはありますか。(1つ選択)

1. 2冊とも手に取って(一部でも)読んだことがある	10人
2. どちらかわからないが、1冊は(一部でも)読んだことがある	30人
3. あることは知っているが、手に取って読んだことはない	45人
4. あることを知らなかった	80人
無回答	6人
合計	171人



「4. あることを知らなかった」(46.8%)と答えた方が最も多く、全体の約半数を占めています。

問14. 今回の市史編さんについて期待することやご意見があれば教えてください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・読みやすく、新居浜の歴史がわかりやすいものにしてほしい。
- ・今までの概念にとらわれず、新しい形を期待したい。ネット環境で見ることができたり、動画が入っていたり、敷居を上げずに誰でも手に取りたくなる内容にしてほしい。また、深く読み解きたい人も楽しめるように、今までの要素もしっかりと残してほしい。
- ・住民、何より子どもたちが故郷を誇りに思えるよう、そして訪れてくれた人が歴史を知って魅力的に感じてもらえるようなもの。また、図書館で皆が手に取って見ることができるとういと思う。
- ・新居浜市の歴史や文化を一つひとつ整理して、後世に残してほしい。整理した内容をHPで公開してほしい。
- ・写真やイラストをたくさん使い、文字は大きく、コーナーとしてその時代の裏話や登場人物の近い人の話など入れてほしい。
- ・写真はできるだけカラーが良い。
- ・昔の写真と現在の写真と比較しながら説明があると良い。
- ・ページ数が多くなっても、様々なことを詳しく、わかりやすく載せてほしい。
- ・子どもが見てもわかりやすい、若い人がみて興味を持てるようなものを作ってほしい。文字だけではわかり

- にくいと思うし、イラストなど入れてみたりして、読みたいと思わせるようなものであってほしい。
- 写真等をたくさん載せたり、分かりやすい内容が良いと思います。ありきたりの物では若い人はあまり読みたいと思わないのでは。学校等でもそれを使って学習すれば良いと思います。
 - 子どもたちが読みやすいような漫画みたいなものを作ったら良いと思う。子どもの頃に慣れ親しませることで、大人になって新居浜について考えることができやすいと思います。
 - 小学生にも読んでもらえるページがあれば良いかも。
 - 老若男女、全ての人に周知できるように徹底してほしい。
 - 誰もが、手にして見ることができる。
 - 若い世代も手に取って読める機会を増やしてほしい。告知の仕方やWEBも検討してほしい。
 - 老若男女、皆が親しみを持って読めるような内容がいい。また、市政だよりや公民館情報など少しずつ紹介するコーナーを作り、連載していくと良いのではと思う。
 - 新居浜市史に興味を持ってもらうために、市政だよりにより市史の一部を連載で掲載してはどうか。新居浜は転勤族の方も多いので、市史に興味を持ってもらうためのきっかけになるのではないかな。
 - 日常的にあまり触れる機会がないものではあるが、絶対に残しておくべき資料であると思う。小中学校の生徒にも課外授業として、たまには取り入れてほしい。
 - 市内の高等学校に配布して、次世代の若者にも知ってほしい。
 - 見る機会がないかもしれないが、学校教材や鑑賞会に使用できる仕上がりを希望します。
 - かなり楽しみです。全体的なものもいいですが、各地域の特集や言い伝えなども面白いと思います。西条藩誌のように、昔の地名ごとの人口、産物、歴史などや神話みたいなものあっても良いかもしれません。
 - 今回の市史編さんは、住友と新居浜市と角野立川との関連を詳しく、わかりやすく書いていただきたい。また、鉱山鉄道のこと、歴史、写真があれば添付して、詳しくお願いします。
 - 銅山の歴史は、後世ずっと受け継がれるべき大事なことだと思う。
 - 新居浜市に発展に寄与した人、また、有名ではないが埋もれている人の紹介
 - 「知らなかった、なるほど」と感心するようなことを載せてほしい。新居浜で一番古いお店や学校とか。昔の写真と今の街並みの写真とか。昔は、滝の宮に金子城があったそうなので、当時の姿とか見てみたいです。
 - 旧新居郡から新居浜市への合併の歴史が入るのなら良いと思う。
 - 発展の歴史だけでなく、災害や負の黒歴史と思われるようなことも、きちんと検証して、書かれることが、未来の新居浜にとって大事なことだと思います。良かったこと、悪かったり失敗したこともあって、今の新居浜があると思います。
 - 今回発行予定の市史は、昭和55年以降が中心になるかと思いますが、過去2回の編さんにおいて記載漏れや新たに資料が発見できたならば、追加してほしい。
 - 平成の出来事も加えて、さらに充実した市史を期待しています。
 - 市史編さん委員は公募しないのか。たいへん大事な事業だと思われるので、お手伝いしたい。
 - 新居浜市の未来像は多種多様と思いますが、並列的に並べるのか、重点を置いたものにするのですか。
 - 大変期待しています。内容の濃い記録書、歴史書としてほしい。具体的スケジュールを教えてください。
 - 早期に完成してほしい。
 - 大事な事業だとは思いますが、読む人は少ないと思う。
 - 市史は安価で販売するのか。多くの市民に知ってもらうには、販売したら良いのではないかな。
 - 三編とも是非一度手にしたい。どこで借りられますか？
 - 将来、市の繁栄に繋がるものを期待します。
 - これからの新居浜をどうしていけばいいのか、市民の参考となる市史を期待している。

<まとめ>

モニターの皆さんには、市史編さんに関する質問に対し、たくさんの回答をお寄せいただき、心から感謝申し上げます。

まず驚いたのは、回答いただいた方の1割近くの家には「古文書」や「家系図」、あるいは近代以前の古写真が残っているということでした。特に写真に関しては、昭和時代以前、つまり30年以上前の写真を含めると全体の4分の3のご家庭で大切に保管されています。

「市史編さん事業」というと古い時代のことを扱うもので、一般市民とはあまり関係がないもののように思ってしまうかもしれませんが、実はそうではなく、なぜいま自分が新居浜市で生活しているのかという基本的なことを理解できるようにするために行うものです。家に残っている古い写真には、それがいつ、どこで撮影されたものかわからないものがあるかもしれません。古文書や家系図には、それがいつ書かれ、何が書かれているのかわからないものもあるでしょう。そうした資料を一つ一つ調べ、ほかの資料と見比べてみることによって、その史料や写真のなかから見えてくる真実を明らかにする作業を積み重ねることが市史編さん事業であるということが出来ます。

地域の伝承に関する皆さんの知識や関心も驚くほど豊かで、今回の市史編さん事業に関心を寄せていただいている方も非常に多くいらっしゃることがわかりました。皆さんの期待に応えられるよう、頑張ってまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(担当課：市史編さん室)



©NPO 法人新居浜まちゆり隊

テーマ② Hello!NEW 新居浜の取り組みについて

【調査趣旨】

新居浜市では、市の魅力を市内外へ情報発信し、移住・定住の促進や交流人口（本市を訪れる人）の拡大へつなげるとともに、市民の地域に対する愛着や誇りを高めることを目的として、平成28年度に「新居浜市シティブランド戦略」を策定しました。

この戦略に基づいて、「Hello!NEW 新居浜」のシンボルマークを掲げ、各種取組を行っているところです。本年度は、新居浜市シティブランド戦略の最終年度にあたり、「市民とともにカタチにする」ことを目標に、様々な取組を加速させることとしています。

ついでには、これらの取組に対する市民の皆さんの受け止め方やご意見等を把握し、Hello!NEW 新居浜を推進する上での参考にしたいと考えていますので、市政モニターの皆さんにアンケートへのご協力をお願いします。

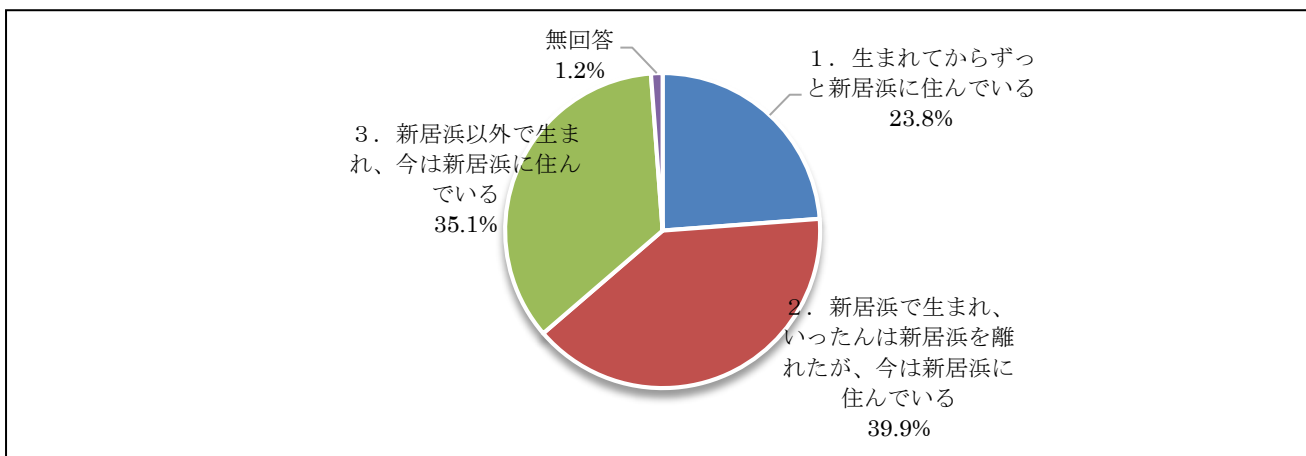
なお、このアンケートは市民の皆さんの認知度・浸透度を推し量る基礎資料とする目的で、平成28年度より継続的に実施しています。

(担当課：地方創生推進課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. あなたは新居浜にずっとお住まいですか？次のうち、あてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

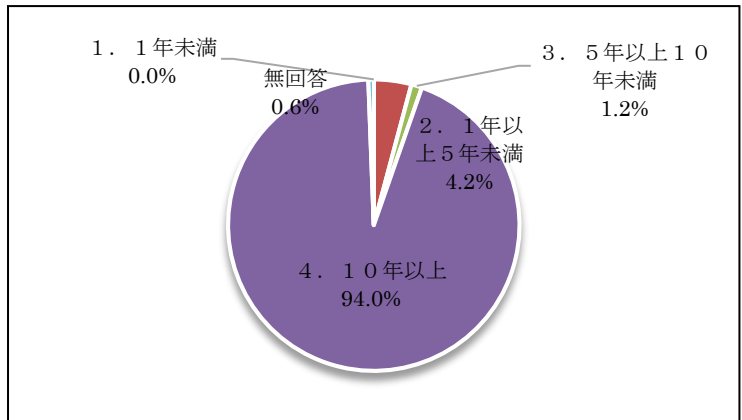
1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる	40人
2. 新居浜で生まれ、いったんは新居浜を離れたが、今は新居浜に住んでいる	67人
3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる	59人
無回答	2人
合計	168人



「2. 新居浜で生まれ、いったんは新居浜を離れたが、今は新居浜に住んでいる」(39.9%)と答えた方が最も多く、次いで「3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる」(35.1%)、「1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる」(23.8%)の順となっています。

問3. 新居浜市への居住期間（通算期間）で、次のうちあてはまるものを1つだけお選びください。
（1つ選択）

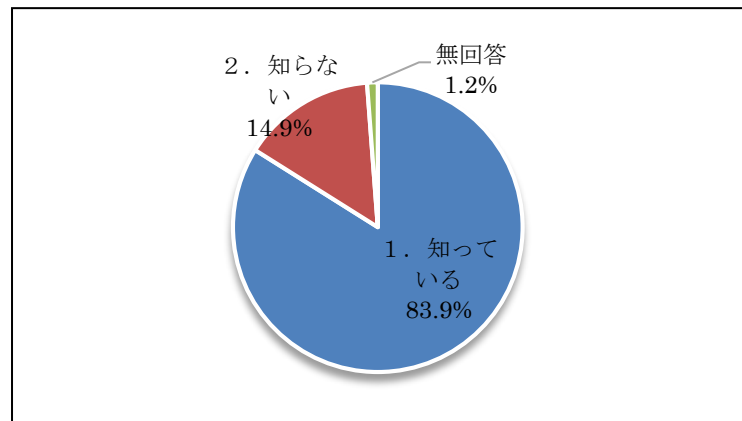
1. 1年未満	0人
2. 1年以上5年未満	7人
3. 5年以上10年未満	2人
4. 10年以上	158人
無回答	1人
合計	168人



「4. 10年以上」（94.0%）と答えた方が最も多く、全体の9割を超えています。

問4. 新居浜市のブランドスローガンである「Hello!NEW 新居浜」を知っていますか？（1つ選択）

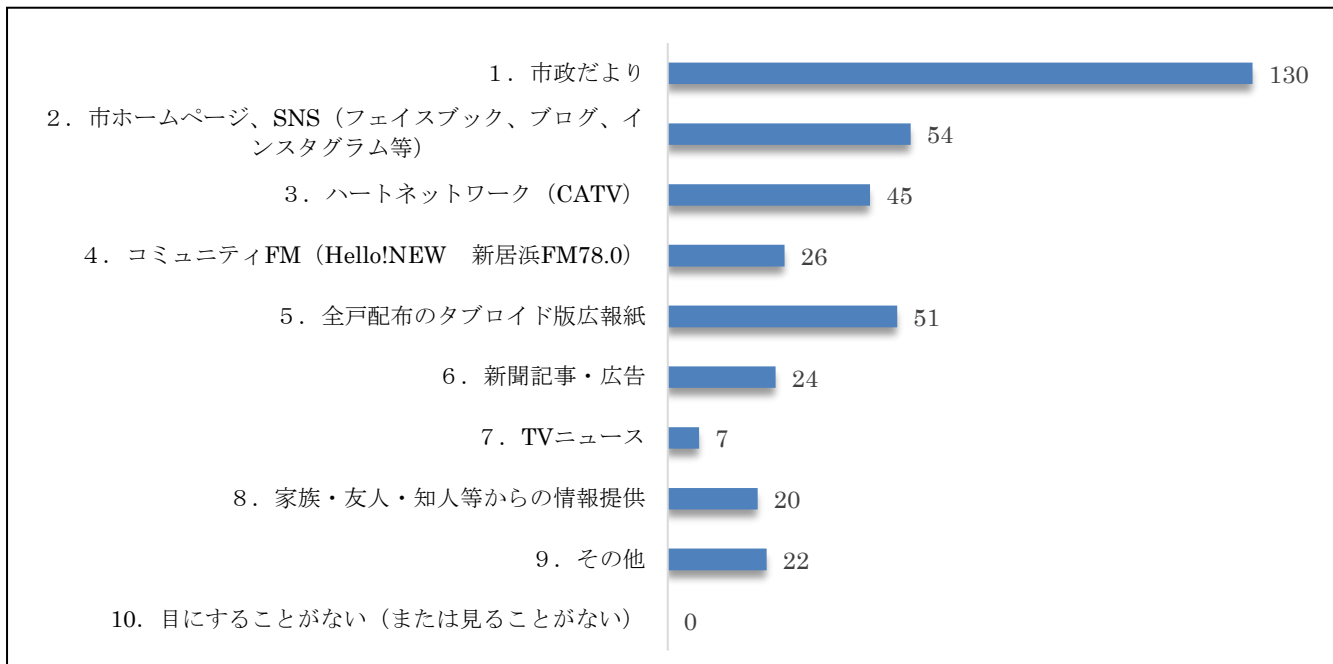
1. 知っている	141人
2. 知らない	25人
無回答	2人
合計	168人



「1. 知っている」（83.9%）と答えた方が多く、全体の8割を超えています。

問5. 問4で「1. 知っている」と答えた方にお伺いします。「Hello!NEW 新居浜」を目にする機会として、次のうちあてはまるものをお選びください。（複数選択）

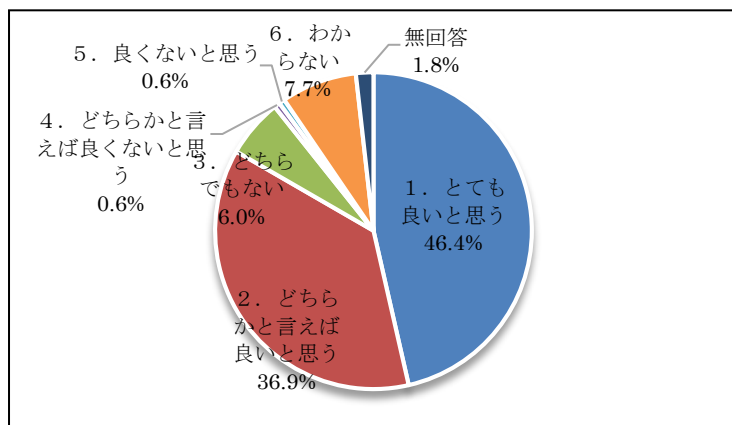
1. 市政だより	130人
2. 市ホームページ、SNS（フェイスブック、ブログ、インスタグラム等）	54人
3. ハートネットワーク（CATV）	45人
4. コミュニティFM（Hello!NEW 新居浜FM78.0）	26人
5. 全戸配布のタブロイド版広報紙	51人
6. 新聞記事・広告	24人
7. TVニュース	7人
8. 家族・友人・知人等からの情報提供	20人
9. その他	22人
10. 目にする機会がない（または見る機会がない）	0人



「1. 市政だより」(130人)を「Hello!NEW 新居浜」を目にする機会として挙げる方が最も多く、次いで「2. 市ホームページ、SNS (フェイスブック、ブログ、インスタグラム等)」(54人)、「5. 全戸配布のタブロイド版広報紙」(51人)、「3. ハートネットワーク (CATV)」(45人)の順となっています。

問6. 新居浜市が「Hello!NEW 新居浜」の活動に取り組むことについて、次のうちあてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

1. とても良いと思う	78人
2. どちらかと言えば良いと思う	62人
3. どちらでもない	10人
4. どちらかと言えば良くないと思う	1人
5. 良くないと思う	1人
6. わからない	13人
無回答	3人
合計	168人

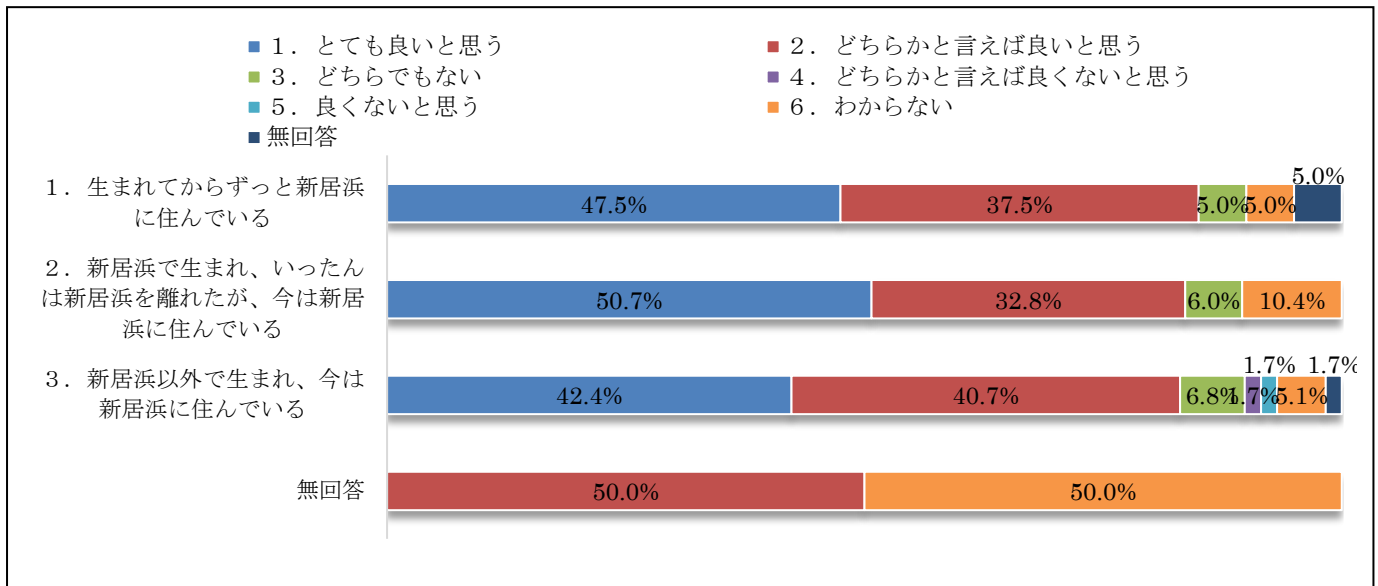


「1. とても良いと思う」(46.4%)、「2. どちらかと言えば良いと思う」(36.9%)と答えた方が多く、この2つを合わせると全体の8割以上となっています。

【クロス集計 (問2×問6)】

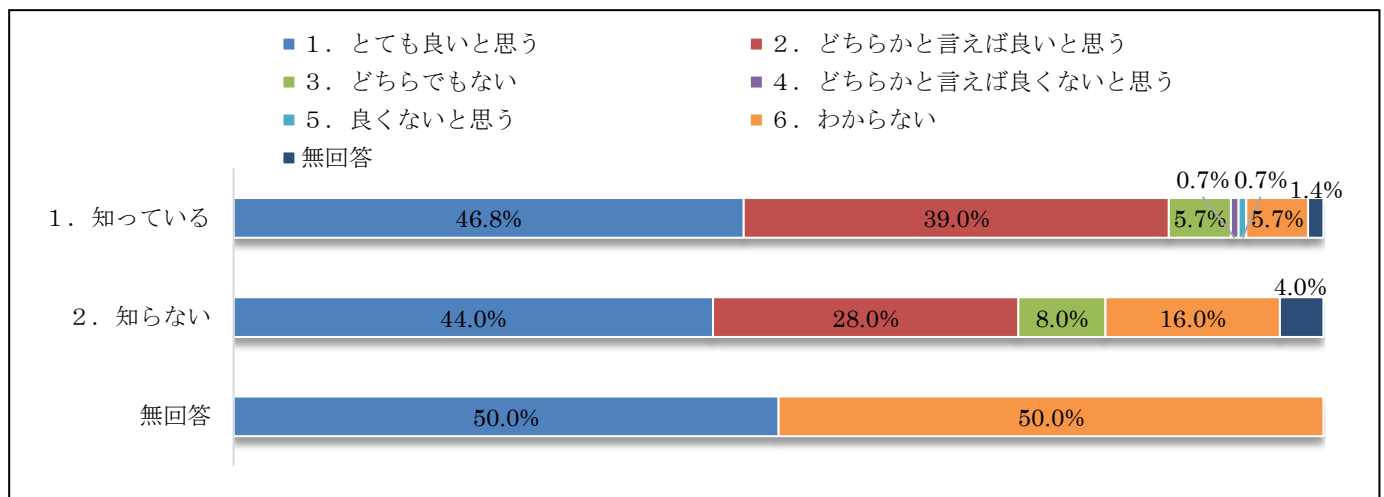
	1. とても良いと思う	2. どちらかと言えば良いと思う	3. どちらでもない	4. どちらかと言えば良くないと思う	5. 良くないと思う	6. わからない	無回答	合計
1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる	19人	15人	2人	0人	0人	2人	2人	40人

2. 新居浜で生まれ、いったんは新居浜を離れたが、今は新居浜に住んでいる	34人	22人	4人	0人	0人	7人	0人	67人
3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる	25人	24人	4人	1人	1人	3人	1人	59人
無回答	0人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	2人
合計	78人	62人	10人	1人	1人	13人	3人	168人



【クロス集計（問4×問6）】

	1. とても良いと思う	2. どちらかと言えば良いと思う	3. どちらでもない	4. どちらかと言えば良くないと思う	5. 良くないと思う	6. わからない	無回答	合計
1. 知っている	66人	55人	8人	1人	1人	8人	2人	141人
2. 知らない	11人	7人	2人	0人	0人	4人	1人	25人
無回答	1人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	2人
合計	78人	62人	10人	1人	1人	13人	3人	168人



問7. 問6で、その項目を選んだ理由を具体的にお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【「1. とても良いと思う」「2. どちらかと言えば良いと思う」と答えた方の意見】

- ・新居浜を良くしていこうという取り組みなので、とても良いと思います。
- ・色々な新しいことに積極的に取り組もうとしていることや、新しいことをどんどん受け入れようとしているところがいいと思います。
- ・新しい新居浜をつくろう、という勢いが見えます。
- ・新しいことを始めないと、新居浜市が元気にならない。
- ・やらないよりは、とにかくやった方が良い。「NEW」に期待しすぎてしまうけれど…。
- ・市外、県外に新居浜をアピールするきっかけになる。自分自身も新居浜について興味を持つきっかけになる。新居浜が新しくなろうと活発化していると感じ、若い世代に元気を与えるのではないかと思う。
- ・新居浜には、市外にも知ってもらいたい魅力ある物も多いので、アピールしていくべきだと思う。
- ・多様性の時代に、新居浜をたくさんの人に知っていただきたい。
- ・新居浜をあまり知らなくても、「NEW」で何か新しいのだろう、と興味を持ってもらえる。新居浜について知ろうと思える気がするから。
- ・シティブランド戦略として、人口減少に備えたり、安心して暮らせるまちづくりのためになると思う。西条市が、「LOVE SAIJO」をシティブランド戦略にしているように、まちの特色が出ると思う。
- ・新居浜市の発展につながる。子どもたちが帰ってきて、住んでくれるようになる。
- ・シンボルマークをよく見かけるようになったので、少しずつ定着してきていると思うから。
- ・ロゴもよく見ますし、市としての方向性を示してくれているので、良いと思います。
- ・スローガンとロゴマークが気に入っている。その意図をもっとわかりやすく伝えてほしい。
- ・はじめに目にした時は理解しにくかったのですが、あちこちで目にするたびに親しみを感じたため。
- ・内向きな新居浜のイメージを、「Hello! NEW」という言葉で変えることができる。
- ・漠然としたテーマであるが、みんなで新居浜を良くしていこうという気持ちになる。
- ・市民全員で、新居浜市の課題解決のため努力していく方向付けとなり、大変良いことだと思う。
- ・新居浜市民であることを理解する、あるいは誇れる、良い方法だと思う。
- ・市政だよりを見ると、関わっている人たちが楽しそうに活動できているようなので、いいことだと思う。
- ・色々なイベントを開催していて楽しい。活性化につながる。
- ・新しい風を受け入れられるまちにしたらいいと思うから。新居浜にずっと住んでいると普通に思えることが、外から見るととても価値のあることもあると思うから。
- ・何か発想して、やることに意義がある。ただ、手間と費用からして、成果がどの程度あるのかが問題でしょう。全国から見ると、まだまだPR不足です。多種、多面で発信が必要ではないでしょうか。
- ・何を目標にしているのか、はっきりわかるように説明が必要。
- ・もう少し全ての人にわかりやすく、参加しやすい方が良いように思います。

【「3. どちらともいえない」と答えた方の意見】

- ・活動の目的がよくわかりません。
- ・取り組みを実感できないから。
- ・新しくなるもの、なったものがわかりにくい。
- ・この活動が、実は身近なところでなされていることを知りませんでした。広報をもっとすればよいと思う。
- ・市民にとって必要とされる事業につながっているかどうか不明確である(特に、費用対効果)。

【「4. どちらかと言えば良くないと思う」「5. 良くないと思う」と答えた方の意見】

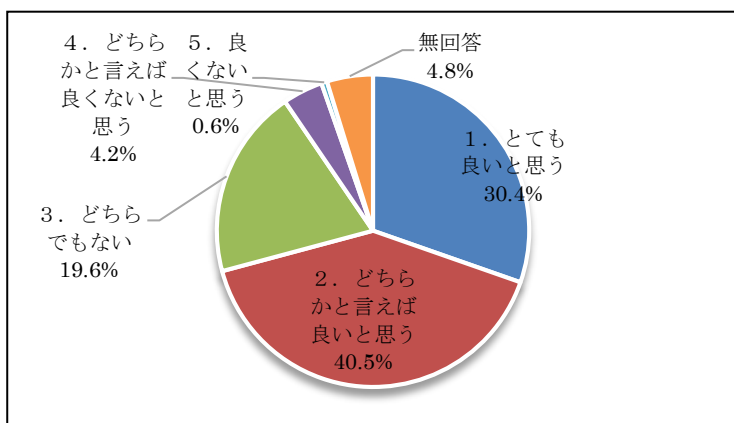
- ・新居浜市に新しい風を吹かせたいという気持ちは伝わるが、移住者目線すぎて新居浜のことを上手く伝えきれていない気がするから。
- ・新居浜を盛り上げるはずのプロジェクトで、ロゴマーク入りのお菓子を東京で作ったり、まず予算ありきにしても、新居浜の産業を使ってこそ地方創生ではないのかと思います。東京で作ることにより、新居浜の知名度が上がる、観光の増加が見込めるならそれも有りかと思いますが、そういう効果は見られない様です。

【「6. わからない」と答えた方の意見】

- ・どういう取り組みなのかわからない。
- ・活動内容を知らない。
- ・よくわからないまま進んでいる。
- ・「Hello! NEW 新居浜」の言葉とシンボルマークは見たことがあるが、その内容については知らないの
で何とも言えない。勉強させていただきます。
- ・活動の広がりを感じられない。

問8. 「Hello!NEW 新居浜」の活動を象徴する、水色の風船の形をしたシンボルマークについて、次のうちあてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

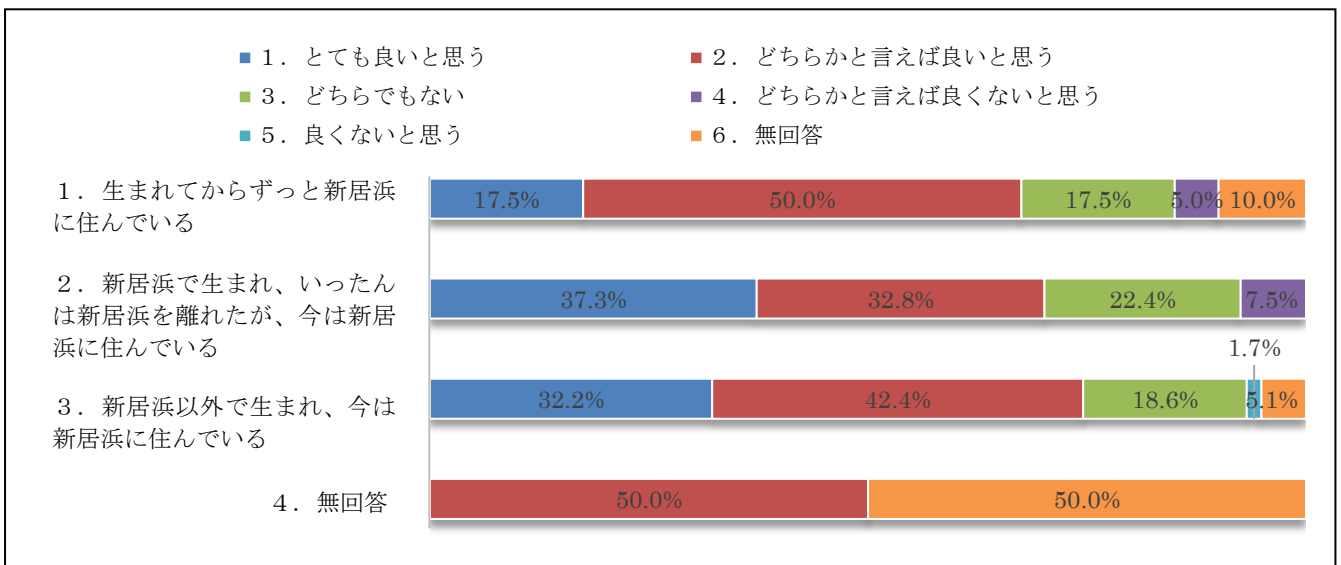
1. とても良いと思う	51人
2. どちらかと言えば良いと思う	68人
3. どちらでもない	33人
4. どちらかと言えば良くないと思う	7人
5. 良くないと思う	1人
無回答	8人
合計	168人



「2. どちらかと言えば良いと思う」(40.5%)と答えた方が最も多く、次いで、「1. とても良いと思う」(30.4%)、「3. どちらでもない」(19.6%)の順となっています。

【クロス集計（問2×問8）】

	1. とても良いと思う	2. どちらかと言えば良いと思う	3. どちらでもない	4. どちらかと言えば良くないと思う	5. 良くないと思う	無回答	合計
1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる	7人	20人	7人	2人	0人	4人	40人
2. 新居浜で生まれ、いったんは新居浜を離れたが、今は新居浜に住んでいる	25人	22人	15人	5人	0人	0人	67人
3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる	19人	25人	11人	0人	1人	3人	59人
無回答	0人	1人	0人	0人	0人	1人	2人
合計	51人	68人	33人	7人	1人	8人	168人



問9. 問8で、その項目を選んだ理由を具体的にお書きください。（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【「1. とても良いと思う」「2. どちらかと言えば良いと思う」と答えた方の意見】

- ・明るい、爽やかなイメージ。若者にも受け入れられやすい感じ。
- ・色がきれいで、目にとまりやすい。
- ・水色がさわやかでかわいい。
- ・清潔感を感じる。
- ・すっきりしていて、わかりやすい。
- ・シンプルで、楽しい未来が続くようで良い。
- ・見やすいです。でも、もう少し派手でも良かったかも？
- ・何か斬新な印象がある。
- ・大きなインパクトはないけれど、見やすい。

- ・マークをよく目にするようになって、意識するようになった。
- ・見慣れたので、このままで続けてほしい。
- ・今の時代に合っていると思います。
- ・ロゴマークと色合いが好感を持てる。
- ・覚えやすく、親しみやすく、デザインが可愛い。
- ・風船は「市民の夢や希望を大きく、ふくらませている」という考えが形になっているようで、とても良いと思う。
- ・皆の意見がたくさん集まって形になり、風船のように大きくふくらんでいく、という思いがよく伝わります。皆で新居浜をより良くしていく、という思いを持つ新居浜市は素敵なまちだと思います。
- ・全てが丸く円満で、未来に向かって飛び立っていくイメージがある。
- ・個人の感想ですが、風船に「割れてしまう」「どこかへ飛んでいってしまう」というマイナスイメージがある。
- ・正直、風船ではなく、吹き出しだと思っていたが、シンプルで色もよいと思う。
- ・吹き出しの形が、一人一人の声を大切にする・言葉、のイメージがあり、新しい取り組みだと思う。
- ・何でも言える新居浜市のように思える。
- ・見る人によって違うものが連想できる場所。
- ・市内の至るところから新しいものが生まれる、と感じさせるデザインだと思います。
- ・何かを期待できそうなイメージがわいてくる。
- ・シンボルマークが、もう少し新居浜らしさ、海や太鼓台や工業都市などをイメージできるものでも良かったかな、とは思う。
- ・キャッチフレーズを市民から募集してほしかった。少し単調な感じですが。
- ・少し色が薄いかな、という印象です。市政だよりのように、写真の横にある時は気づかないことがあります。
- ・親しみやすい形ですが、今一つ何を伝えたいのかよくわからない。シンボルマークとはこのくらいのメッセージ性でよい、ということなら問題ないかと思います。
- ・目標を形で表わすことが大切である。何を意味するのか、即座に理解できるような工夫がほしい。

【「3. どちらでもない」と答えた方の意見】

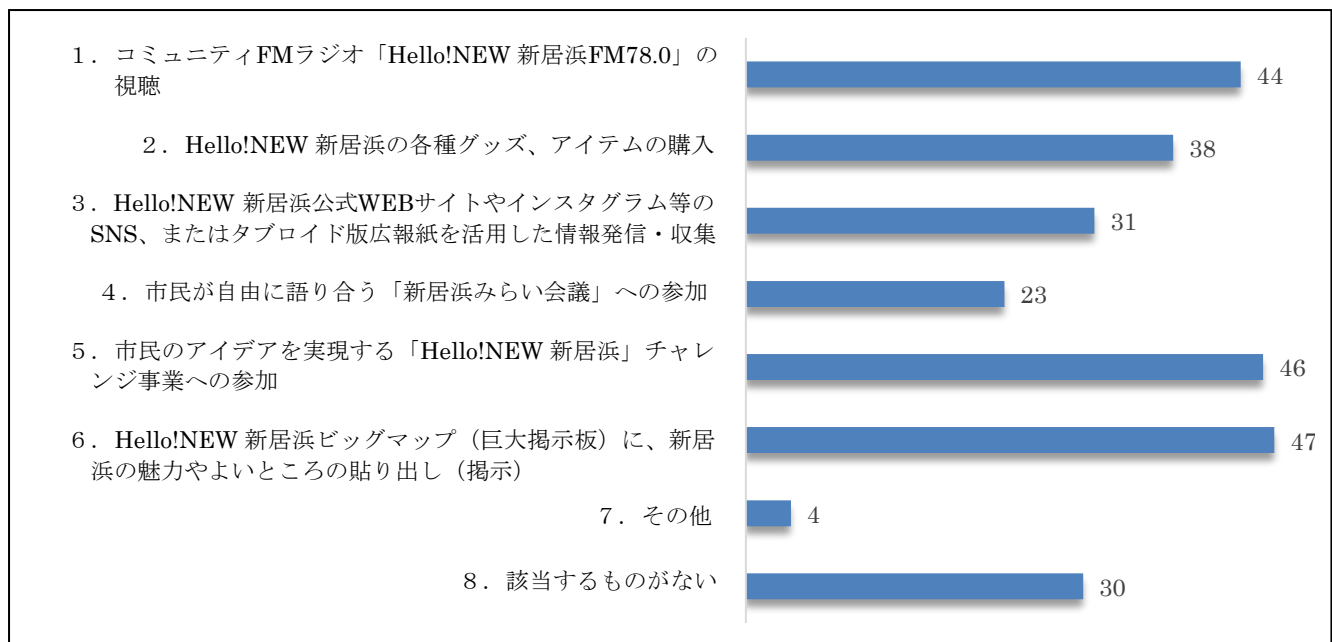
- ・可愛らしく、馴染みやすいが、新居浜らしさは感じない。
- ・なぜ水色なのか、なぜ風船なのかよくわからない。
- ・色が好きじゃない、私の持っている新居浜のイメージ色とちょっと違う。
- ・良くも悪くもない印象を受けたから。
- ・単なるマークとしか見えない。
- ・少しおとなしい感じで、アピール不足か？
- ・パッと見て意味がよくわからないし、インパクトにもかけると思います。
- ・シンプルで良いのですが、色の使い方（色数を増やす）も考えては？
- ・年齢を含め、幅広い人たちの心にインパクトを与え、残るものであってほしいと思う。このシンボルマークはみんなの心の中に残るのだろうか？私自身、忘れはしないけれど…。
- ・高齢者にわかるでしょうか。
- ・デザインはとても良いと思います。活動を象徴する意味では、このシンボルマークを見て、何の活動を表しているのかわかりづらいです。
- ・このマークを一昨年位から目にするようになりました。相当税金を使ったと思われますが、イメージ戦略なのか、具体的に何がどうなのかわかりませんでした。今回アンケート資料を見て、初めて少しわかりました。

【「4. どちらかと言えば良くないと思う」「5. 良くないと思う」と答えた方の意見】

- ・地味、目立たない。主旨はわかるけれど…。
- ・色と、高齢者には横文字がわかりにくい。
- ・今のマークも良いのですが、あかがねミュージアムで活動をしていることもあるようなので、あかがね色のシンボルマークでも良かったかな、と思います。
- ・「Hello! NEW」はしっかりとした字体なのに、「新居浜」という字が略字でアンバランスなところ。
- ・取り組みはよいと思うが、シンボルマークは今一つイメージがわいてこない。
- ・シンボルマークを見て、元々のコンセプトがわからない。
- ・パッと見て何を表現しているかわからせるのがロゴマークではないだろうか。いちいち説明しなければならないロゴマークでは意味がない。

問10. 「Hello!NEW 新居浜」の活動の中で、あなたが興味ある、参加したい（または参加したことがある）ものについて、次のうちあてはまるものをお選びください。（複数選択）

1. コミュニティFMラジオ「Hello!NEW 新居浜FM78.0」の視聴	44人
2. Hello!NEW 新居浜の各種グッズ、アイテムの購入	38人
3. Hello!NEW 新居浜公式WEBサイトやInstagram等のSNS、またはタブロイド版広報紙を活用した情報収集・発信	31人
4. 市民が自由に語り合う「新居浜みらい会議」への参加	23人
5. 市民のアイデアを実現する「Hello!NEW 新居浜チャレンジ事業」への参加	46人
6. Hello!NEW 新居浜ビッグマップ（巨大掲示板）に、新居浜の魅力やよいところの貼り出し（掲示）	47人
7. その他	4人
8. 該当するものがない	30人



「6. Hello!NEW 新居浜ビッグマップ（巨大掲示板）に、新居浜の魅力やよいところの貼り出し（掲示）」（47人）、「5. 市民のアイデアを実現する『Hello!NEW 新居浜チャレンジ事業』への参加」（46人）、「1. コミュニ

ティFMラジオ『Hello!NEW 新居浜FM78.0の視聴』(44人)などが興味ある、参加したい(または参加したことがある)活動として多くの方に挙げられている一方、「8. 該当するものがない」(30人)という声も多かったです。

問11. 問10で「7. その他」を選んだ場合に、その具体的な内容をお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・「Hello!NEW 新居浜アンバサダー」として、市内情報を発信している。
- ・仕事などで忙しいので、チャレンジができないことが多い。
- ・「Hello!NEW 新居浜」とは、から見つめ直さなければ回答もできない。
- ・こういった目的なのか理解できていません。

問12. 「Hello!NEW 新居浜」の活動を進めていく上で、あなたが期待することや対応してもらいたい内容等がありましたら、具体的にお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・新居浜の良いところを、もっと全国にも発信していけばいいと思う。
- ・子どもからお年寄りまで、共に参加できるプロジェクト的なものがあるといいな、と思う。
- ・三世代が興味を持って活動に参加できる内容にしてほしい。他の自治体の参考例も紹介してほしい。会議の内容、チャレンジ事業内容について、スピーディに成果を出し、広報してほしい。
- ・より子どもが参加しやすい活動があれば、大人も興味を持つのでは？
- ・えひめさんさん物語の、「子どものまち」イベントのようなものを今後も継続的に開いてほしい。
- ・高齢者にもわかりやすく、そして参加しやすくしてください。
- ・市役所の中だけのプロジェクトではなく、市民参加型のプロジェクトにしてほしい。
- ・誰にでも興味がわきそうなものを考えてほしい。物産以外が少ない。
- ・市民の声を幅広く聞くのが大事だと思う。業界関係者や地域で活動されている方や、団体などと連携して、参加型のイベントや講演などの開催。
- ・企業、学校等を積極的に巻き込んで、幅広い活動にしては。
- ・誰でも参加できるようにしてほしい。
- ・多くの人に参加できるプロジェクトがよいと思う。
- ・ごく一部の人の中で活動しているイメージなので、市内全域で活動して行ってほしい。
- ・一部の人だけが「やっている」と盛り上がって満足しないように期待します。
- ・企画等に、各事業所からセンスのある若者を指定し、積極的に活動してもらおう。市職員の活動だけでは無理がある。
- ・色々な媒体を使って、もっと広報すべき。
- ・市の公用車のボディに「Hello!NEW 新居浜」を貼り付ける。市政だより等、市の発行する文書に記事を載せ、その意義・意味等をもっとアピールする。
- ・各自治会でも、説明会的な機会があればいいと思う。
- ・各校区の催し物等でも、PRをしてください。

- ・子どもたちにも広く見聞きし、知ってもらいたいので、クリアファイルに新居浜の良いところ等を載せて、全児童・生徒に配布するのはどうでしょうか。
- ・「Hello! NEW 新居浜」の活動についてレポートをいただくことがあります。あかがねミュージアムでイベントをした、新居浜みらい会議をした、等の記事が載っていました。そういったレポートはどんどん出してほしいです。
- ・今まで以上に住みやすい、安心安全なまちづくりを期待します。
- ・高齢者が安心して住める新居浜にしてもらいたいです。高齢者が楽しめるまちづくり、ライブなどに気軽に行ける環境を整えてほしい。
- ・世代的にも移り変わろうとしているので、若者にもお年寄りにも優しい新居浜市になるといいな、と思う。
- ・県外から新居浜に移り、25年が経ちました。ここは災害も少なく、とても住みやすいまちです。ただ、公共交通の便があまり良くないので、車を持つまでは少々苦労しました。高齢者ドライバーの問題が出ている時代でもあるので、もっと便利な移動手段を持つモデル都市になれるような取り組みを考えてほしい。
- ・老若男女が住みやすい地域にするためには、公共交通機関の充実が必要。
- ・住みやすいまちづくりとして、移動手段の充実は必要と考える。特に、新居浜駅の自転車駐輪場の無料化は必要ではないか？
- ・高齢者が安く、安全に市内を出歩くための公共交通機関が今一つである。デマンドタクシーは一定の効果を上げていると思うが、市内一円を対象とする等、システムの改革を期待する。乗り合いの循環バスとどちらが望まれるか？
- ・活気のある市にしてほしい。
- ・商店街の活気のなさに、閉店した店が多すぎて、淋しい。商店街に映画館が3館もあった頃は、店も人も活気があったのに。「Hello! NEW 新居浜」で活気も取り戻してほしい。大型ショッピングセンターがあるから、商店街はあれで仕方がないのでしょうか？
- ・登り道の夜市を復活させてほしい。
- ・新居浜は、イオンに人が集まるため、イオンとタイアップしたイベントを開催すれば良いのではないか。
- ・新居浜市の良いところや塩田、銅山、住友の歴史等を全国に伝え、祭り行事も都会に見せて、新居浜に観光客を呼び込む努力をしてほしい。
- ・別子山は新居浜の奥座敷。大自然ともに、それ自体がシティブランドでしょうが、一步踏み出して、東京にとっての軽井沢ならぬ、四国から関西の軽井沢のような存在にできないでしょうか。
- ・別子銅山の観光ツアー、別子村の観光ツアー
- ・荷井海岸を埋め立てて、土居までの道を便利にしてほしい。できれば大島に橋を渡してほしい。埋め立てた土地は道の他、工場地として利用。大島への橋はデザイン性に優れたものにして、大島への観光客を増やす。
- ・銅を使った建物や施設が、数多く目につくようなことができれば、「銅のまち」として生きてくるのでは。
- ・新居浜ロゴ入りグッズの販売について、あかがねミュージアム内ショップだけでなく、地元のマリンパーク、マイントピア、ゆらぎの森などでも販売できないでしょうか。
- ・以前、グッズをあかがねミュージアムで買おうと思ったのですが、適当なものが見当たりませんでした。グッズの品数をもっと増やしてほしいです。
- ・市民にもっとわかりやすく説明し、この活動が市民のためになると具体的に掲示していただかないと、意味不明のただのマーク、ただのスローガンで終わると思います。補足資料の「活動内容」も抽象的すぎて、内容がイメージできません。
- ・広く市民の意見を聞いて、施策に反映されることを期待します。受け身型の人の意見をどう吸い上げるか？
- ・とてもおもしろいと思います。これから自分も勉強して、温故知新な新居浜になるよう努力します。

問13. 「Hello!NEW 新居浜」の活動全般に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・もっと盛り上げて参加者を増やしてほしい。
- ・市外へアピールするには最高なので続けてほしいです。
- ・県内の移住者数推移で新居浜市は遅れをとっていると感じるので、早急に追いつき、追い越してもらいたい。
- ・もっともって市民が気軽に参加できるように、期待します。
- ・過去に取り組んできた活動全般を見直して、新しい活動をしていってほしい。
- ・今一つ活動内容が周知されていないように感じる。特に、若い人たちとの接点が少ない世代は知らない人が多いと思う。
- ・まだまだ告知不足。人の広場でも良いイベントをしていたが、市民の関心は得られていなかったと思う。
- ・活動内容を見ると、お堅いイベントばかりと思う。人が参加したいと思う、楽しいイベントをするべきでは。
- ・市職員がロゴマーク入りのポロシャツやジャンパーを着ているのはとてもいいと思います。自治会を通じてステッカーを配るなどしてもいいのかな、と思います。
- ・とにかく広く知ってもらうことが大事なので、もっと大々的にアピールしてもいいと思います。
- ・スローガンやロゴマークを作って取り組みをしても、本当に広く市民に知られていないように感じます。子どもから高齢者まで、これがHello!NEW 新居浜だ、とわかるようなやり方でないと、一部の人だけの満足で終わってしまうような気がしてなりません。
- ・市民に知ってもらうには、こんなふうには抽象的にダラダラやっても駄目だと思います。どうせやるなら、もっと圧倒的に集中して、お金・物・人をつぎ込んで、市民にPRして、説明に説明を重ねて、イベントもダラダラやらないで、市民参加型やアイデア募集など、日を置かずして認知度を上げないと駄目だと思います。市政だよりでも一面にドーンと何か月も載せるくらいの熱がないと、市民は自分と関係ない所で市役所が何かやっている、と思います。
- ・主旨はわかりますが、高齢者には横文字が多かったり、具体的なことが今一つぼやけているような気がします。フェイスブック、インスタグラム、WEBサイト、全ての人が使っている訳ではないと思うのですが…。
- ・新居浜みらい会議で話し合ったことや、新居浜チャレンジ事業の内容を何かしらの方法で知ることができるようにしてほしいです。市政だよりはいつも見ているので、そちらにも色々記事を出してほしいです。
- ・新居浜みらい会議に「見学」に行きたいと思います。語り合うことが苦手な子どもたちでも参加できやすくすることも必要では、と思います。
- ・今、それぞれの校区では例年のとおり「まちづくり校区懇談会」が開催されていますが、こういった校区単位で、「Hello!NEW 新居浜」の活動ができないものかと思います。そうすればもっと身近に感じることができて、効果もあるのではないかと思います。
- ・活動があまり認知されていないように思う。東洋のマチュピチュをもっと全国にTVアピールして観光客を増やしてはどうか。そのためにも、東平へ行く道の整備にも目を向けては？車が離合できないので、怖くて運転して行けません。
- ・もう少し新居浜にある産業を使つての活動を考えてほしい。新居浜の産業が盛り上がるのが基本ではないでしょうか。もしかして、もうそういう活動にしているかもしれませんが、活動の認知度は低いと思います。
- ・太鼓祭りだけじゃないブランディングにとっても期待しています。
- ・西条市で開催されているような音楽フェスを、新居浜でも是非してほしい。
- ・ボランティアに関心があります。高齢者の生きがい等、考えてほしいです。高齢者の税金を安くしてほしい。

- ・新しいビジネスモデルで雇用も創出できれば、継続した活動ができると思う。
- ・駅前の食事処をもっと増やしてほしい。昔は食堂やラーメン屋さんがあって、駅前で食事ができていたけれど、今は淋しい。駅前、淋しくないですか？子どもたちの遊び場がないと思う。大人の遊び場もない。
- ・無駄な経費を使わずに、もっと市民が「変わったな」とはっきりわかるような取り組み、住みやすいまちづくりをしてもらいたい。
- ・集客も大切だとは思いますが、「想い」を大切にしてほしいと思います。
- ・新しいコトを創り出すのは簡単なことではない。粘り強く、積極的な教宣を続けてほしい。

<まとめ>

平成28年度に策定した「新居浜市シティブランド戦略」に基づく各種取組に対しての市民の皆さんへの浸透度や理解度等を経年比較するために、昨年度に引き続きアンケートを実施させていただきました。

今年度は、「新居浜市シティブランド戦略」の取り組みの3年目になります。

まず、新居浜市のブランドスローガンとしての「Hello!NEW 新居浜」についての認知度は、1.7ポイント減少したものの、8割以上の方に認知されているという結果に安心しました。また、「Hello!NEW 新居浜」を知っていると答えた人に対して、目にする機会をお尋ねしたところ、特に「市ホームページ、SNS（フェイスブック、ブログ、インスタグラム等）」及び「ハートネットワーク（CATV）」の項目で、昨年度の数値を大きく上回る結果となりました。このことは、SNS等のデジタル情報発信など多様なメディアを通じた積極的なプロモーションが認知度の維持に効果を表していることと分析しております。

活動内容については、83.3%の方が、とてもよいと思う、またはどちらかと言えばよいと思うと評価していただいております。昨年度と比較すると、7.5ポイント上昇しました。どちらでもない、どちらかと言えばよくない、よくないとご回答いただいた方は、それぞれ減少していますが、7.7%の人がわからないとお答えされているところに、より積極的に確実な情報発信が必要と感じています。

「Hello!NEW 新居浜」の活動全般については、たくさんのご意見をいただきました。特に、「市民参加型」、「気軽に参加」といった市民と一緒に実施できるイベントの開催に対するニーズが大きいです。また、「積極的な情報発信」に対するご意見もたくさんいただきました。今後におきましては、多くのつながりに支えられた、さらに多くのつながりが生まれるようなイベントを市民の皆さんと一緒に企画、運営、実施できる体制を構築していきたいと思っております。また、新居浜市の魅力発信など、これまで以上に、市民一丸となって取り組んで参りたいと考えております。

そのためにも、皆さんのご意見を参考にし、強みを伸ばして、弱みを改善しつつ、市民の皆さん一人ひとりの新居浜に対する愛着と誇りが高められる取り組みを積み重ねて参りたいと思っております。

(担当課：地方創生推進課)

テーマ③ 地産地消の推進について

【調査趣旨】

新居浜市では、平成21年度に地産地消推進マスコットキャラクター「はまっこ新鮮組」や、標語『いただきます!』今日もおいしい新居浜産』を制定し、平成23年度から新居浜市産の農林水産物やそれらの加工品を取り扱う事業所を新居浜市地産地消協力店として認定するなど、新居浜市産品の生産拡大と消費拡大に努めているところです。

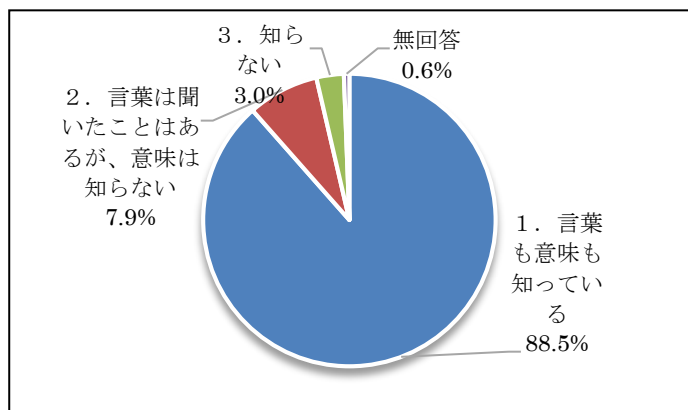
つきましては、これらの取組に対する市民のみなさんのご意見をお伺いし、今後の地産地消の推進に役立てたいと考えておりますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

(担当課：農林水産課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 「地産地消 (※地域で採れたものを地域で消費する)」という言葉を知っていますか？ (1つ選択)

1. 言葉も意味も知っている	146人
2. 言葉は聞いたことはあるが、意味は知らない	13人
3. 知らない	5人
無回答	1人
合計	165人

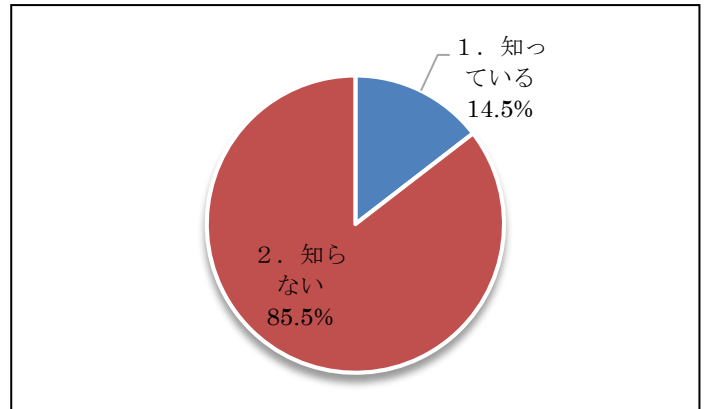


「1. 言葉も意味も知っている」(88.5%)と答えた方が多く、全体の8割を超えています。

問3. 地産地消推進マスコットキャラクター「はまっこ新鮮組」を知っていますか？ (複数選択)



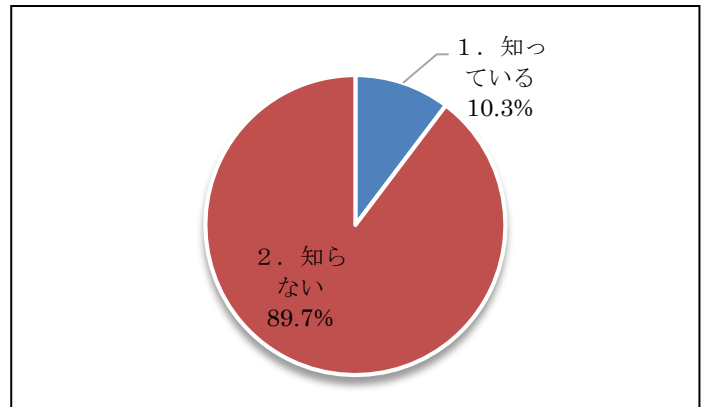
1. 知っている	24 人
2. 知らない	141 人
合計	165 人



「2. 知らない」(85.5%)と答えた方が多く、全体の8割を超えています。

問4. 地産地消推進標語『いただきます!』今日もおいしい新居浜産』を知っていますか？
(1つ選択)

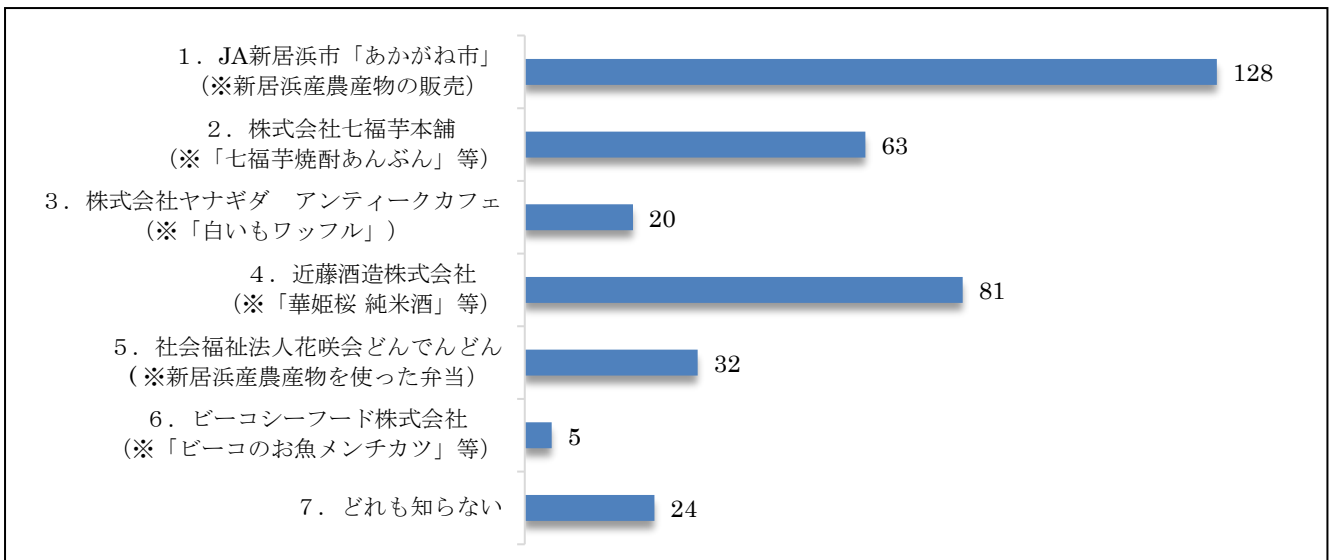
1. 知っている	17 人
2. 知らない	148 人
合計	165 人



「2. 知らない」(89.7%)と答えた方が多く、全体の約9割となっています。

問5. 知っている地産地消協力店をすべて選んでください。(複数選択)

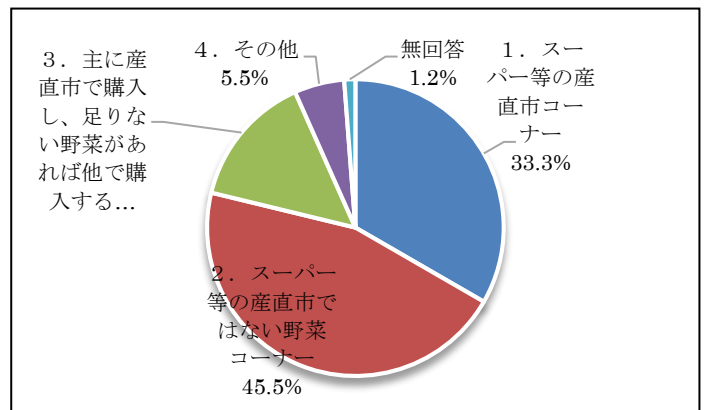
1. JA新居浜市「あかがね市」(※新居浜産農産物の販売)	128 人
2. 株式会社七福芋本舗(※「七福芋焼酎あんどん」等)	63 人
3. 株式会社ヤナギダ アンティークカフェ(※「白いもワッフル」)	20 人
4. 近藤酒造株式会社(※「華姫桜 純米酒」等)	81 人
5. 社会福祉法人花咲会どんでんどん(※新居浜産農産物を使った弁当)	32 人
6. ビーコシーフード株式会社(※「ビーコのお魚メンチカツ」等)	5 人
7. どれも知らない	24 人



「1. JA新居浜市『あかがね市』(128人)、「4. 近藤酒造株式会社」(81人)、「2. 株式会社七福芋本舗」(63人)などが、知っている地産地消協力店として多く挙げられています。

問6. 野菜は主にどこで買いますか？（1つ選択）

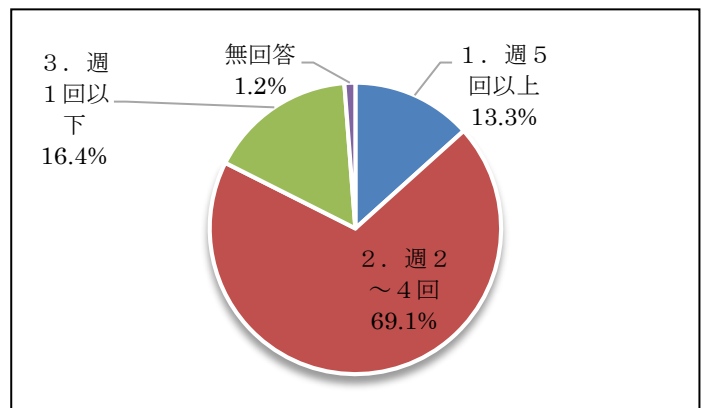
1. スーパー等の産直市コーナー	55人
2. スーパー等の産直市ではない野菜コーナー	75人
3. 主に産直市で購入し、足りない野菜があれば他で購入する	24人
4. その他	9人
無回答	2人
合計	165人



「2. スーパー等の産直市ではない野菜コーナー」(45.5%)と答えた方が最も多く、次いで、「1. スーパー等の産直市コーナー」(33.3%)、「3. 主に産直市で購入し、足りない野菜があれば他で購入する」(14.5%)の順となっています。

問7. 野菜を買う頻度はどのくらいですか？（1つ選択）

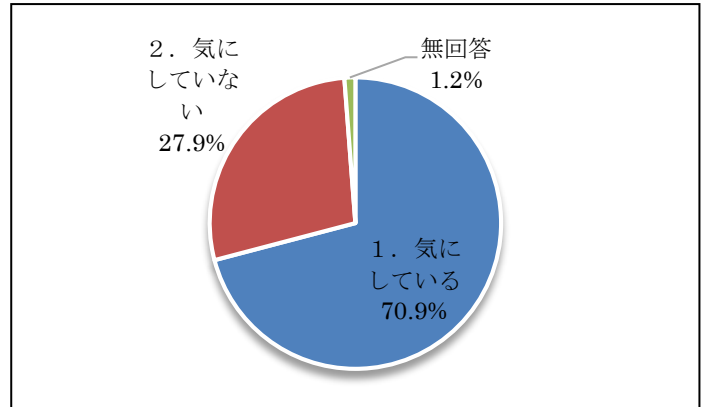
1. 週5回以上	22人
2. 週2～4回	114人
3. 週1回以下	27人
無回答	2人
合計	165人



「2. 週2～4回」(69.1%)と答えた方が多く、全体の約7割となっています。

問 8. 野菜の産地を気にしていますか？（1つ選択）

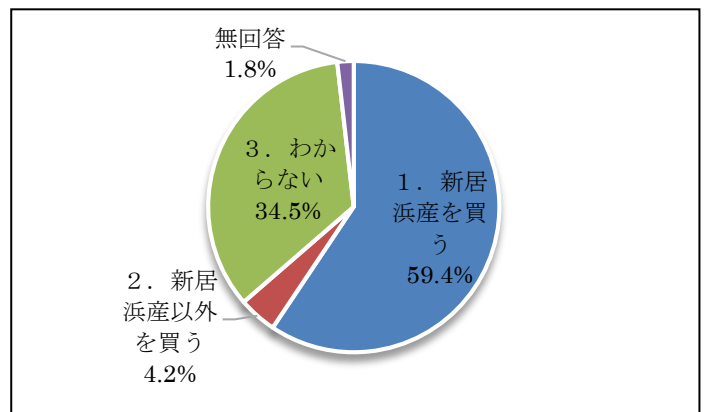
1. 気にしている	117 人
2. 気にしていない	46 人
無回答	2 人
合計	165 人



「1. 気にしている」(70.9%)と答えた方が多く、全体の約7割となっています。

問 9. 同じ農産物で新居浜産と新居浜産以外があった場合、どちらを買いますか？（1つ選択）

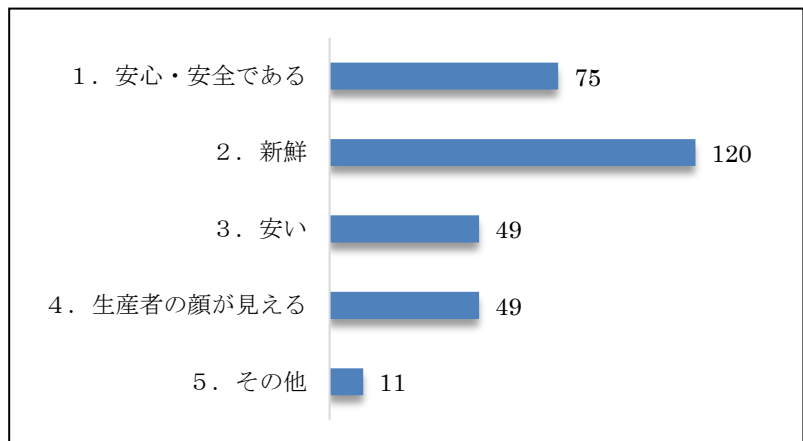
1. 新居浜産を買う	98 人
2. 新居浜産以外を買う	7 人
3. わからない	57 人
無回答	3 人
合計	165 人



「1. 新居浜産を買う」(59.4%)と答えた方が最も多く全体の約6割、次いで「3. わからない」(34.5%)と答えた方が多くなっています。

問 10. 新居浜産の野菜を選ぶ理由は何ですか？（複数選択）

1. 安心・安全である	75 人
2. 新鮮	120 人
3. 安い	49 人
4. 生産者の顔が見える	49 人
5. その他	11 人



「2. 新鮮」(120人)、「1. 安心・安全である」(75人)などが、新居浜産の野菜を選ぶ理由として多く挙げられています。

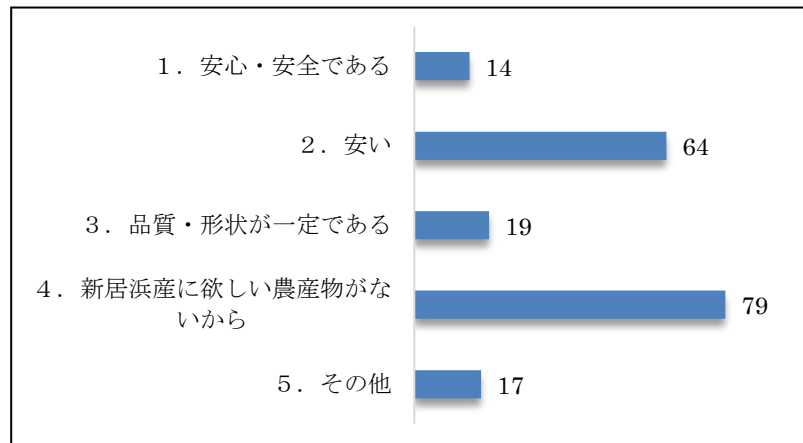
問 1 1. 問 1 0で「5. その他」を選択した方は、その理由をお書きください。（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・新居浜産の野菜でも、なるべく無農薬のものを買うようにしています。
- ・産地は気にしていない。野菜を選ぶ基準は価格と見た目（鮮度）。
- ・新居浜産にこだわらない。
- ・率先して新居浜産を買うことはない。状態や値段などを比べて、良いものを購入する。
- ・どちらが新鮮か比べてしまう。
- ・その都度商品を見てから決めるので、特別な理由はない。
- ・私が買い物に行くことが、ほとんどない。
- ・日常の買い物は、交通の便利が良い隣市で購入する。

問 1 2. 新居浜産以外を選ぶ理由は何ですか？（複数選択）

1. 安心・安全である	14 人
2. 安い	64 人
3. 品質・形状が一定である	19 人
4. 新居浜産に欲しい農産物がないから	79 人
5. その他	17 人



「4. 新居浜産に欲しい農産物がないから」(79人)、「2. 安い」(64人)などが、新居浜産以外を選ぶ理由として多く挙げられています。

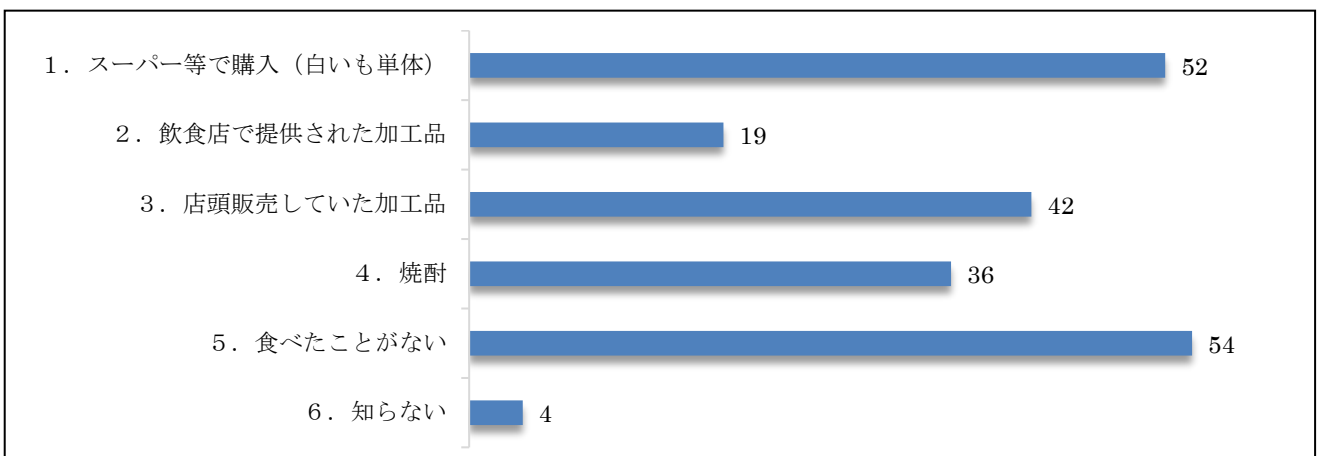
問 1 3. 問 1 2で「5. その他」を選択した方は、その理由をお書きください。（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・新居浜産でなくても、無農薬のものがあればそちらを選びます。
- ・「新居浜産」、「それ以外」と気にしたことがない。
- ・新居浜産にないものが市外産にある。
- ・新居浜産にない野菜。その産地の名産やこだわりの野菜。
- ・有名な産地であれば、その風土が適しているのだろうと思う。なので、そこで採れたものは美味しいものと思ってしまう。ブランドに弱い。
- ・さつま芋などは、県外産の方が甘く、美味であるので。
- ・食べておいしいものを買います。
- ・他市にある産直市に直結する飲食店に魅力を感じるので、そちらを利用しています。
- ・新居浜産地としてどこで販売しているか、全く知らない。

問14. 新居浜市の特産品である大島の白いも（七福芋）を、購入したり食べたりしたことがありますか？（※加工品含む）（複数選択）

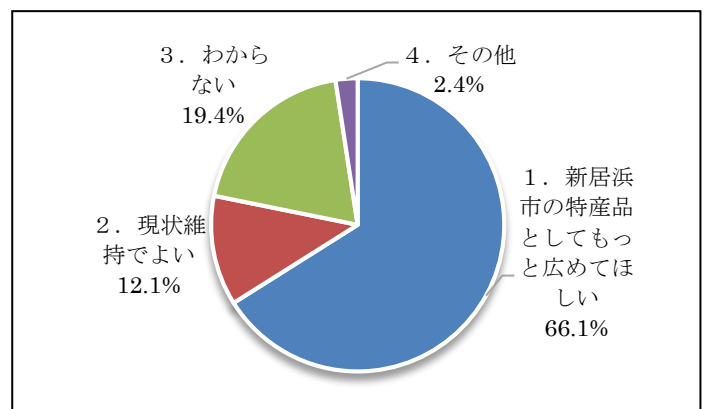
1. スーパー等で購入（白いも単体）	52人
2. 飲食店で提供された加工品	19人
3. 店頭販売していた加工品	42人
4. 焼酎	36人
5. 食べたことがない	54人
6. 知らない	4人



「5. 食べたことがない」（54人）と答えた方が最も多くなっています。購入したり、食べたりしたことがある方の回答では、「1. スーパー等で購入（白いも単体）」（52人）、「3. 店頭販売していた加工品」（42人）、「4. 焼酎」（36人）などの回答が多くなっています。

問15. 現在、大島の白いも（七福芋）は、作付面積約1ha、年間約10トンの収穫があります。白いもの今後の方向性についてお伺いします。（1つ選択）

1. 新居浜市の特産品としてもっと広めてほしい	109人
2. 現状維持でよい	20人
3. わからない	32人
4. その他	4人
合計	165人



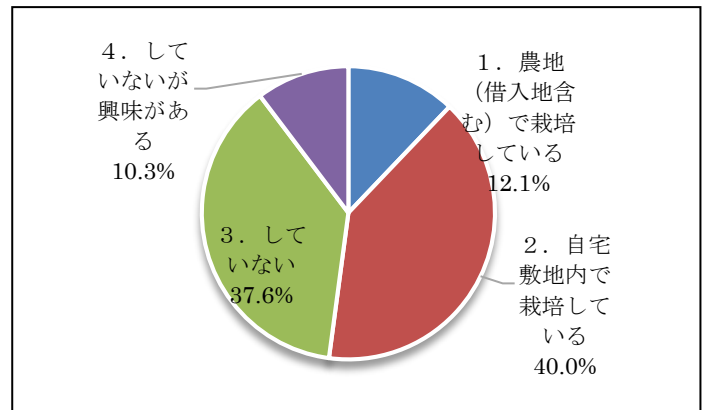
「1. 新居浜市の特産品としてもっと広めてほしい」（66.1%）と答えた方が最も多く、全体の6割を超えています。次いで、「3. わからない」（19.4%）、「2. 現状維持でよい」（12.1%）、「4. その他」（2.4%）の順となっています。

問16. 問15で「4. その他」を選択した方は、その内容をお書きください。(自由記入)

- ・生産者の減少を耳にします。砂地での栽培など、特異的な品種なので生産拡大は見込めないと思う。希少品ということで、値段も高い。市民にとっては、地元のものが手に入りにくい状況ではないか？地産地消の推進に逆効果ではないのか。
- ・白いものはおいしい(甘い)が、高いので、もう少し安くしてほしい。
- ・さつま芋は徳島をはじめ、大分、鹿児島からのものが流通している。これらと比べて、特徴が不明。他者に真似のできない加工品を開発しないと。
- ・昔は店頭で見かけましたが、最近は全く見かけないです。ねっとりしてとても美味しいお芋ですが、もう味も忘れそうなくらいです。どういったことで遠い存在になってしまったのか？今、まだ生産されていると聞いて驚きました。身近にあった大島芋が今は遠い存在です。

問17. 現在、野菜を栽培していますか？(1つ選択)

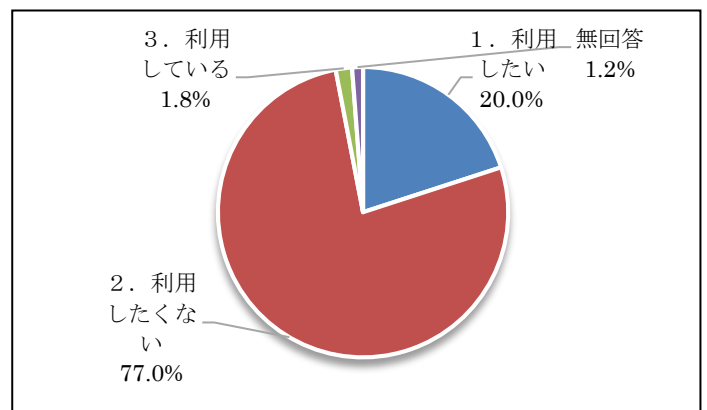
1. 農地(借入地含む)で栽培している	20人
2. 自宅敷地内で栽培している	66人
3. していない	62人
4. していないが興味がある	17人
合計	165人



「2. 自宅敷地内で栽培している」(40.0%)、「3. していない」(37.6%)と答えた方が多くなっています。また、「4. していないが興味がある」(10.3%)と答えた方は全体の約1割となっています。

問18. 現在、「新居浜市自然農園を育てる会」が開設主体となり、市内39農園で一区画50㎡の農地を年間2,000円の使用料で貸し出しています。この農園を利用したいと思いますか？(1つ選択)

1. 利用したい	33人
2. 利用したくない	127人
3. 利用している	3人
無回答	2人
合計	165人



「2. 利用したくない」(77.0%)と答えた方が最も多く、全体の7割を超えています。

問19. 新居浜市における農業全般についてご意見等があればご記入ください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・農業（兼業も含む）をする人が高齢化している。楽しみながらする分には良いが、職業として続ける分には成り立たなくなっている。校区ごとにでも、何か対策があればいいのですが。
- ・後継者がいなくて、耕作放棄地が増えていると思います。JAなどが中心となってこれらの田畑を借り上げて再開発事業を進めて、就農者を育成してもらえたらと思います。
- ・農業人口を増やす努力をしてほしい。
- ・遊休農地が多い。市が学生などボランティアの力を借りて活用して、イベント販売などすると賑わいそう。
- ・新居浜市でも耕作放棄地が多々見られるのが残念です。農地の貸し出しを個人向けに限定しないで、一区画の面積を広げて、大規模農家に依頼してはどうかと思います。
- ・耕作放棄地が増えてきているように感じられる。農業を企業化して活性化できればと思う。
- ・新居浜は、一戸当たりの耕作面積が狭い。市の発展の歴史からやむを得ないが、農地と宅地が混在しすぎている。
- ・我が家にも農地がありますが、イノシシ被害で作付け不能であり、余計な費用と手間がかかるので二の足を踏むのが現状です。
- ・農作物の品質は別として、作付けが減り、水田が特に減り、雨水排水の管理が難しくなっている。
- ・新居浜農協の里芋部会のように収益が上がるスタイルの農業を広めて、若年層も農業で家族を養っていける新しい農業の形を作っていたきたい。
- ・自分の土地も無料でも良いから、自然農園として活用してほしい。草刈りや管理ができにくくなっている。
- ・自然農園、借りて野菜を育ててみたいですが、野菜作りがわからないので、初心者のための野菜作り教室みたいなものがあると嬉しいです。
- ・自然農園に興味がある。気軽に利用できるシステムなら利用したい。
- ・農地を安く借りられる制度は知っているし利用したいが、自宅の近くではないので、なかなか利用できない。
- ・若い人たちが休日を利用して、貸し出しされた農園で過ごせるようなシステム作りを考えてみてはどうでしょう。ドイツでは小さな建物付きで貸し出して、そこで休日を過ごすことが主流のようです。若い方々の家族の休日の過ごし方も変わってくるのではないのでしょうか。
- ・産直市の充実を願います。
- ・新居浜市には他市のように大規模な産直市がありません。私もですが、知り合いの方の多くが、わざわざ他市へ出向いています。もったいない。経済の損失だと思います。
- ・以前に銅夢にははまだ産直市があり、楽しみに出掛けていましたが、終了されたようです。どこのスーパーにも地元産コーナーがあれば良いのにとと思います。
- ・産直市等をもう少し改良したら良いと思う。スイーツの販売や施設の改良、品揃え等。
- ・最近野菜の種類も増えてきているので嬉しい。仕事をしていると買い物をする時間が限られて、通販などで買うこともある。旬の野菜セットを定期便などで宅配してくれると、もっと利用する機会も増えると思う。
- ・スーパーの産直市や農協をよく利用します。やはり農協が新鮮で、安く、生産者の顔が見えます。消費者は新鮮で、安全で、安いものを欲しいので、よろしく願います。
- ・価格の安定をお願いしたい。季節や天候に左右されるのは仕方がないが、価格が上がり過ぎる。
- ・スーパーの産直市コーナーをできるだけ利用していますが、姿が綺麗なのを見ると、本当に無農薬かな？と思うことがあります。表示してほしいと思います。「安かろう 悪かろう」は時代遅れではないのでしょうか。
- ・他県の農家のSNSの発信を見ていると、興味深く購買意欲がそそられる。新居浜ではあまり感じない。

- ・特産物になる野菜がない。特産物になる野菜の推進と全国へのアピールが必要と思う。
- ・大島の白いもについて、特産品であることも必要だが、美味しい食べ方も広めてほしい
- ・地産地消マスコットキャラクターや標語は初めて知った。小学校給食でPRすれば、家庭へ広がるのでは？
- ・新居浜市は他市と比べて農業振興政策や食育（地産地消推進や農業活動）が全く見えてきません。広報紙などでアピールをお願いします。
- ・農業に関しては、店頭や市でも地産地消を目にします。しかし、漁業に関しては、ほとんど耳にしません。おいしい魚がこんな身近にあるのですから、市がもっと漁業を盛り上げてほしい。

<まとめ>

今回のアンケートは、制定から10年を迎えた地産地消推進マスコットキャラクター「はまっこ新鮮組」や、標語「『いただきます！』今日もおいしい新居浜産」についての認知度や、市民の皆さんの農林水産物に対する関心度等を調査し、今後の農林水産業に関する施策を推進するために実施しました。

まず、「『地産地消』という言葉を知っていますか？」との問いに対し、9割近くの人が「言葉も意味も知っている」と答えた一方、マスコットキャラクターと標語については「知っている」と答えた人が1割程度にとどまり、認知度の低さが表れる結果となりました。日常の買い物では、スーパー等の産直市を利用する人としらない人がほぼ同数であるものの、7割の人が「野菜の産地を気にしている」と答えており、産地が購入の判断材料の一部となっていることが分かりました。また、新居浜産の野菜を購入する理由としては「新鮮」「安心・安全である」が多く、新居浜産以外の野菜を購入する理由としては「新居浜産に欲しい農産物がないから」「安い」が多くなりました。

また、新居浜市の特産品である大島の白いも（七福芋）については、6割以上の人が何らかの形で食べたことがあると答え、新居浜市内においては一定の知名度があることが分かりました。また、今後の方向性についても、6割以上の人が「新居浜市の特産品としてもっと広めてほしい」と答え、白いも（七福芋）栽培及び販路拡大について、今後の発展を期待する声が多く寄せられました。

さらに、「現在、野菜を栽培していますか？」との問いには、ほぼ半数の人が「している」と答えた一方、していなくても1割の人が「興味がある」と答えており、野菜栽培に対する関心の高さが表れる結果となりました。なお、「新居浜市自然農園を育てる会」が開設している農園については、2割の人が「利用したい」と答えました。

今回のアンケートを実施して、地産地消推進に対する市民の皆さんの関心の高さが判明した一方、耕作放棄地の増加に対する不安や農業の担い手育成策に関する意見も多く寄せられました。今後、より一層地産地消の推進に努めると共に、新たに農業を目指す人が安心して経営ができるような施策の推進に取り組んでまいります。

（農林水産課）